

令和 3 年度

教 育 要 覧

名張市教育委員会

市 民 憲 章

(昭和39年4月26日制定)

わたしたち名張市民は、万葉の伝統をいかしつつ時運に即応し
し勇気と確信をもって、新しい名張市を創るためこの憲章を定
めます。

1. 清潔で平和なまちをつくりましょう。
1. 高く豊かな文化をきずきましょう。
1. 明るくあたたかく人をむかえましょう。
1. 健康な近代産業をそだてましょう。
1. 力をあわせ公正な市政をのばしましょう。

(この要覧の内容は、日付の記載のないものは令和3年4月1日現在です。)

目 次

第1 教育行政

1. 教育大綱、教育目標、教育行政の方針と施策	
(1) 教育大綱	1
(2) 教育目標	4
(3) 教育行政の方針と施策	5
2. 教育委員会	
(1) 教育委員	
① 現職教育長及び教育委員	13
② 歴代教育長及び教育委員	13
③ 教育委員会の会議	15
(2) 事務局組織	18
(3) 事務分掌	19
(4) 教育委員会事務局等職員数の推移	21
3. 教育予算及び決算	
(1) 予算	22
(2) 決算	24
4. 教育施設	
(1) 学校等施設の沿革	26
(2) 学校教育施設	
① 小学校	29
② 中学校	29
(3) 社会教育等施設の沿革	30
(4) 社会教育等施設	
① 図書館	32
② 文化会館	32
③ 教育集会所	32
④ 武道交流館いきいき	32
⑤ 体育施設	33
⑥ 郷土資料館	34
⑦ 市民センター	35
(5) 未利用土地の状況	36

第2 学校教育

1. 学校・幼稚園教育目標	
(1) 位置づけ	37
(2) 小・中学校教育目標	38
(3) 幼稚園教育目標	39
2. 学校・幼稚園研究主題一覧	40

3. 小学校・中学校・幼稚園一覧	
(1) 所在地等一覧	4 2
(2) 職員数等一覧	4 3
4. 小・中学校通学区域一覧	4 4
5. 幼稚園、小学校、中学校別の園児、児童、生徒数等の年度別推移	
(1) 幼稚園、小学校、中学校別の園児、児童、生徒数の年度別推移	4 6
(2) 幼稚園、小学校、中学校別のクラス数（普通学級・特別支援学級・合計） の年度別推移	4 7
(3) 幼稚園、小学校、中学校別の1クラス当たりの園児、児童、生徒数 の年度別推移	4 7
(4) 教員1人当たりの園児、児童、生徒数の年度別推移	4 7
6. 中学校卒業生進路状況	4 8
7. 小中学校特別支援学級の状況	4 8
8. 特別支援教育の流れとコーディネーターの活動内容	4 9
9. 通級指導教室活用状況	5 0
10. ALT（外国語指導助手）の活動内容・配置状況	
(1) 小学校ALT	5 1
(2) 中学校ALT	5 1
11. 不登校児童生徒の状況	5 2
12. スクールカウンセラーの活動内容・配置状況	5 3
13. 教育相談会（スーパーバイズ）の実施内容	5 3
14. 学校生活支援ボランティアの登録状況	5 4
15. 日本スポーツ振興センター「災害共済給付制度」適用の事故災害発生件数 ・医療費給付額の年度別推移	5 5
16. 遠距離通学費補助の内容（基準）と交付状況	5 5
17. 就学援助の内容（基準）と援助状況	5 5
18. 特別支援教育奨励費の内容（基準）と援助状況	5 6
19. 名張市奨学金の経過	5 7
20. 名張市教育センター	
(1) 運営方針	5 8
(2) 令和3年度事業	
①子どもの育ち・学びへの支援	5 8
②教育に関する調査・研究	5 9
③教職員への支援	5 9
④学校と地域の連携への支援	5 9
⑤教育情報・資料の収集・提供	5 9
(3) 教育センター利用状況	
①令和3年度研修講座等実施予定一覧	6 0
②利用者数の年度別推移	6 1

第3 社会教育

1. 社会教育委員	6 2
2. 文化振興・文化財保護	
(1) 文化団体会員数	6 3
(2) 指定文化財	6 3
(3) 文化財公開施設入館者数	6 3
(4) 指定文化財一覧表	6 4
3. 年度別名張市美術展覧会出品数（応募者数）	6 7
4. 社会教育等施設の利用状況	
(1) 市民センター利用状況	
①利用状況の年度別推移	6 7
②令和2年度市民センター利用状況	6 9
③令和3年度市民センター主催事業・サークルの実施状況	7 0
④令和3年度市民センター主催事業計画一覧表	7 1
(2) 図書館利用状況	
①利用状況の年度別推移	7 8
②各種数値の年度別推移	7 9
(3) 武道交流館いきいき利用状況	8 0
(4) 体育施設利用状況	8 1
5. 学校体育施設の開放状況	8 2
6. 青少年補導センター	8 3
7. 刑法犯少年の初発型非行件数等の推移	8 4
8. ジュニアリーダー養成講座修了者数	8 4
9. 人権学習会の開催状況	8 4
10. 三重とこわか国体・三重とこわか大会	8 5
教育施設位置図	8 6

第1 教育行政

1. 教育大綱、教育目標、教育行政の方針と施策

(1) 教育大綱

① はじめに

2015（平成27）年4月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行されました。これを受けて、本市では市長及び教育委員会で構成する「総合教育会議」を2015（平成27）年4月20日に設置しました。

市長は、教育基本法第17条に規定する教育振興基本計画を参酌し、地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとされていますことから、総合教育会議で教育委員会と協議し、「名張市教育大綱」（以下、「本大綱」という。）を策定しました。

② 策定の趣旨

名張市総合計画「新・理想郷プラン」（以下、「総合計画」という。）は、計画期間を10か年間とする「基本構想」と、第1次・2次の「基本計画」の2層で構成する計画で、2016（平成28）年度を初年度としております。

本市政進展のうえで最も重要な課題として捉えているのが、人口減少とともに超高齢社会の到来です。本市が、いつまでも住み続けたいまちであるためには、可能な限り人口の維持に努めるとともに、バランスのとれた人口構造を維持することが重要です。

そこで、総合計画では、「元気創造プロジェクト」、「若者定住プロジェクト」及び「生涯現役プロジェクト」の3つのプロジェクトを重点戦略と位置付け、各種施策を横断的・多面的かつ一体的に取り組を進めることで、本市の重要課題の解決を目指します。

本大綱は、総合計画に定める本市の目指すまちの将来像を実現するための、教育及び文化・スポーツ振興の基本方針として定めました。

③ 計画期間

計画期間は、2021（令和3）年度から2025（令和7）年度までの5年間とします。

④ 目指すまちの将来像

『豊かな自然と文化に包まれて 誰もが元気で幸せに暮らせるまち 名張』

⑤ 位置づけ

本大綱は、総合計画に定める教育等の振興に関する施策についての基本方針を、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に規定する大綱として位置づけたものです。

また、国の第3期教育振興基本計画の基本的な方針を参酌しつつ、総合計画の教育分野の計画と位置づけた「名張市教育振興基本計画『名張市子ども教育ビジョン』」をはじめ、「名張市スポーツ推進計画」や生涯学習分野の計画等、各種計画と相互に補完しながら、子どもの健全育成に関する基本計画「ばりっ子すくすく計画」との整合性・一貫性を図り、総合計画に定める目指すまちの将来像や基本目標の実現に取り組むこととします。

さらには、総合計画では、「市民との協働」を定め、計画推進にあたっては、行政のみならず、市民一人ひとりの主体的な参画のもと、互いの役割と責任を自覚し、ともに知恵を出し合い、協働によるまちづくりを進めていくこととしております。

このようなことから、本大綱は、総合計画に則るとともに、「未来を担う子どもの夢を実現するため、学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一丸となって子どもの教育に向き合います。」と位置付けた、子ども教育ビジョンの基本理念を意識し、重点的に取り組んでいく事項を基本方針として決めました。

名張市総合計画「新・理想郷プラン」

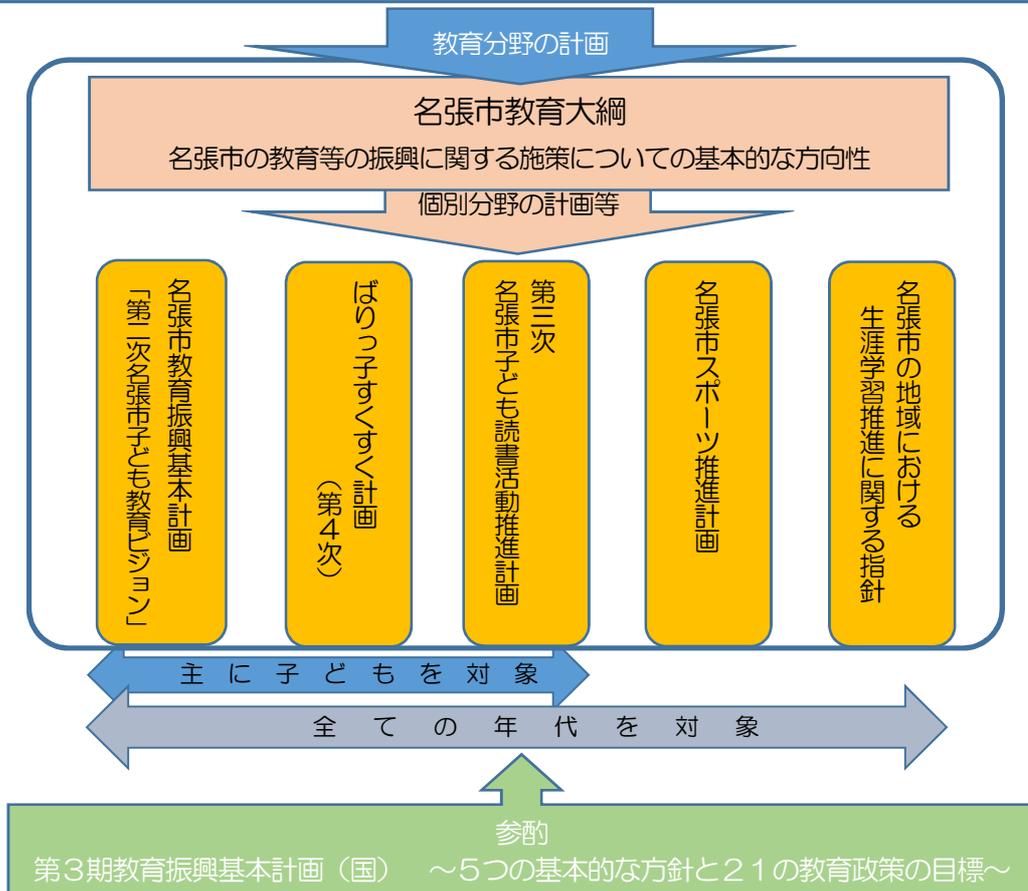
目指すまちの将来像「豊かな自然と文化に包まれて誰もが元気で幸せに暮らせるまち 名張」

〔基本目標1〕 支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち（子ども・子育て支援）

〔基本目標3〕 活力に満ちて暮らせるまち（人材の育成）

〔基本目標4〕 豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち

（学校教育・青少年健全育成・生涯学習・生涯スポーツ・文化振興）



⑥ 基本方針

1 生涯現役社会の創造【活躍】

- ・市民が互いを尊重し認め合い、多様な個性・能力を生かして活躍できる社会を創造します。
- ・市民がいつまでも健康で生きがいをもって、地域社会の担い手として活躍できる、人生100年時代の到来に向けた社会を創造します。
- ・市民が生涯楽しく学び続けることができ、自己実現を可能にする生涯学習の充実を進めます。

2 市民文化の創造【愛着】

- ・市民が生活環境を守り育てる意識を持ち、自然に包まれ四季を感じながら快適に暮らせる社会を創造します。
- ・貴重な歴史、文化や芸能等を後世に継承するとともに、魅力ある新しい名張文化を創造します。
- ・豊かな地域資源と多様な文化資源を活用し、市民が郷土に誇りと愛着を感じられるふるさとづくりを創造します。

3 豊かな心と健やかな体の創造【活力】

- ・市民が主体的に行う健康づくりの取組を支援するとともに、健康を維持・増進する環境整備を進めます。
- ・市民が「いつでも、誰でも、いつまでも」スポーツに親しみ、健康ではつらつとした暮らしを営むことができる生涯スポーツを創造します。
- ・市民が交流の輪を広げ、あらゆる世代が豊かな心や相互の絆を育む環境づくりを推進し、ゆとりや潤いのある豊かな生活と新しい社会を創造します。

4 生きる力を育む教育の創造【育成】

- ・広い視野をもって、「なばり」の元気を支え、「なばり」の未来を拓く人材を育みます。
- ・子どもに充実した人生を主体的に切り拓いていく「夢を実現する力」、未来の社会を築きリードする「社会を拓く力」を育みます。
- ・「誰一人取り残さない」社会の実現を目指したSDGs※の理念のもと、持続可能な社会の創り手を育成する教育を推進します。
- ・子どもの学びを保障するとともに、若い世代が安心して働き、子育て・教育がしやすい環境整備を進めます。

5 未来への創造【創生】

- ・みんなが大切にされ、夢や希望を実現し活躍し続けることができるよう、安全で安心な「なばり」を創造します。
- ・市民が自主自立し、いつまでも暮らし続けることのできる「なばり」を創造します。
- ・地域間・世代間のネットワークを広げ、多様な主体の連携・協働による魅力ある「なばり」を創造します。
- ・新たな時代の礎となる「ひとを育て、まちを育てる教育」に市民総ぐるみで取り組み、誰からも選ばれる活気に満ちた未来の「なばり」を創造します。

(2) 教育目標

名張市教育委員会は、生涯をとおして豊かな心をはぐくむ教育を基本に、重ねられた歴史と文化を大切にし、その継承と他に誇れる市民文化の創造を目指します。

この実現のために、時代の変化に対応し、学校教育と社会教育が大きなひとつの流れとなるよう、また、子どもから高齢者まで、すべての市民が心身ともに健康で学びや暮らしの満足度が高まるよう、次の目標を掲げ、積極的に教育を推進します。

1. 家庭、地域と連携し、子どもたちの個性と権利を尊重しながら、豊かな心と生きる力をはぐくむ教育を進めます。
2. 生涯にわたって、自己啓発の意欲が湧き、学びの成果を発揮することで、生きがいにつながる学習の場と機会を提供します。
3. あらゆる場面において、お互いの違いを認め、思いやることのできる、人権意識の高い市民を育成します。
4. いつでも、どこでも、誰とでも、気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加でき、心や体の健康づくりができる生涯スポーツの機会を提供します。
5. 歴史や伝統ある文化資源を保存し、活用することで市民が身近なものとして触れ、知ることにより情報発信するとともに、文化、芸術に親しみ、活動できる機会づくりに努めます。
6. 家庭・学校・地域等において、すべての人に教育者としての役割と責任があることを考えてもらえるよう働きかけていきます。
7. 社会を構成する一員として、国際的な視野を持つとともに、地域づくりに主体的にかかわることのできる人材を育成します。

(平成16年4月7日名張市教育委員会決定)

(3) 教育行政の方針と施策

・はじめに

近年、人口の減少と少子高齢化とともに情報化やグローバル化などの社会的変化が加速度的に進展しております。加えて、この度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、教育現場におきましても、これまでの学習活動や生活様式の大きな変革を迫られた一方、コロナ禍を乗り越えた後の新しい学校像を描かせる契機ともなりました。

これからはどのような状況下にあっても、最大限、子どもの健やかな学びを保障する取組を実施していくことがより一層必要となってまいります。

このような中、「第二次名張市子ども教育ビジョン」が令和2年度末で前期の計画期間を終えることから、令和3年度からの5年間を計画期間とする後期計画を策定いたしました。今後、後期計画に示す6つの基本目標の達成を目指し、市長部局や関係機関と緊密に連携・協調しながら、教育施策を着実に推進し、市民の皆様の信頼と期待に応えるべく、本市教育の更なる充実に取り組んでまいります。

令和3年度の重点取組事項としましては、学校のICT環境の整備と子どもの情報活用能力の育成が挙げられます。令和2年度の国のGIGAスクール構想実現事業により、児童生徒へ1人1台情報端末と学校のインターネット環境を整備いたしました。令和3年度はこれらを有効活用した学習活動を実施することで、子どもの情報活用能力を育成いたします。

また、令和3年度には三重とこわか国体の開催が予定されております。コロナ禍の中、本年度のリハーサル大会が中止となったため、難しい大会運営となりますが、本市を来訪される全国の選手や大会関係者を温かくお迎えし、成功裏に終えることができるよう万全の体制で準備を進めてまいります。

第1節 生きる力を育む教育の推進

《施策1 学校教育》

(1) 幼児教育

幼稚園、保育所（園）・認定こども園から小学校への円滑な接続を実現させるため、「ばりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト」を推進いたします。退職教職員の「ピカ1先生」が各園を巡回し、5歳児を対象に、小学校への見通しと期待感を持てるような取組を実施します。

また、幼児教育アドバイザーによる市内小学校及び幼稚園等の巡回を継続して行い、本市独自に作成した「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」に基づく実践を推進いたします。さらには、小中学校教職員と幼稚園教諭・保育士・保育教諭が合同で行う、公開保育・公開授業、実践交流会、研修講座等の充実を図ります。

(2) 義務教育

①G I G Aスクール構想の実現による学習活動の充実

令和2年度、市内各小中学校に、1人1台の端末と、高速大容量のWi-Fi通信ネットワーク、端末からの大型提示装置への無線転送機器等の一体的な整備を行いました。これらの環境を有効に活用し、子どもに情報活用能力を育成するとともに、近い将来到来する新たな未来社会であるSociety 5.0時代にも対応できる、誰一人取り残すことがない学びを実現してまいります。そのために、教職員の研修や学校での実践研究を推進し、活用の優良事例をデジタル方式で共有化する等の取組を実施いたします。

②小中一貫教育の推進

令和2年度、市内全ての中学校区において小中一貫教育が本格実施となりました。各中学校区で作成したランドデザインに基づき、小学校と中学校の縦のつながりと学校と家庭・地域の横のつながりを大切にしながら、義務教育9年間を見据えた系統性・連続性のある指導・教育を行い、子どもの「学び」と「育ち」を保障した小中一貫教育を推進してまいります。

一人ひとりの多様な個性・能力を最大限に伸ばしながら、9年間のカリキュラムの中で、様々な教育課題を解決することを目指して、取組を充実させてまいります。

③名張版コミュニティ・スクールの推進・充実

市内全小中学校がコミュニティ・スクール（学校運営協議会設置校）となり、保護者・地域の皆様と学校が連携・協働した取組が進められています。今後は、全ての学校運営協議会の一層の充実を図りながら、教育委員会と市長部局が連携し、「子どもを核とした地域づくり」であるスクール・コミュニティの体制を構築してまいります。子どもの学びと成長を支える活動や子どもが地域貢献できる活動（地域学校協働活動）を学校運営協議会と連携・協働しながら実施し、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを持続発展させていこうとする子どもを育成し地域コミュニティの活性化を目指します。

④自ら学び、考える力を育てる教育

令和3年度は、中学校で新学習指導要領が全面実施となります。学校においては、カリキュラム・マネジメントによる組織的・計画的な教育活動の展開を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を更に推進いたします。

また、子ども一人ひとりが、自分の良さや可能性を認識するとともに、他者を尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の担

い手となるための教育、SDGsを実現するための教育を推進いたします。推進に当たっては、各教科・領域はもとより、ふるさと学習「なばり学」の学習を通して、ふるさと名張を理解し、誇りや愛着を持ち、次世代の名張を担う子どもの育成を目指します。

⑤心を大切にす教育

「特別の教科 道徳」の時間を要として、学校の教育活動全体を通じて、生命を尊重し、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養います。学習の中では、仲間と共に考え議論することで、自己を見つめ、物事を多面的、多角的に捉え、自己の生き方について考えを深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育ててまいります。

人権教育につきましては、差別を許さない心の育成とともに、多様性を認め合い、一人ひとりの存在や思いが大切にされる、人権感覚あふれる学校づくりを目指してまいります。

いじめ防止対策としましては、「名張市いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめは絶対に許さない」という土壌を醸成するとともに、いじめ事案の未然防止、早期発見等、迅速で適切な対応に努めてまいります。また、不登校をはじめとする長期欠席者につきましては、「不登校対応マニュアル」等を活用し、未然防止と早期対応に努めるとともに、各学校と教育センターにある適応指導教室（さくら教室）が連携を強化して、社会的自立に向けたきめ細かな支援を実施してまいります。

病気や精神的な問題等を抱える家族の世話をしている未成年者であるヤングケアラーや、子どもの虐待防止等への対応につきましては、学校とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門職が連携強化を図るとともに、名張市地域福祉教育総合支援ネットワークの教育分野でのエリアディレクターが、家庭や地域、関係機関等と連携を密にし、支援を一層充実させてまいります。

子どもの読書活動につきましては、「第三次名張市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書への意欲を高め、学びを支援するために、各学校を巡回している学校司書と学校が一層連携・協力し取り組んでまいります。あわせて、読書の楽しさを体感し、家族間のコミュニケーションを深める読書活動である「ファミリー読書」を引き続き推奨してまいります。

⑥健やかな体を育む教育

子どもが生涯にわたって健康な生活を営めるよう、各教科や特別活動等を通して健康教育を推進いたします。また、学校関係者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等で組織する学校保健委員会の一層の充実を図るとともに、食事、運動、休養や睡眠等の規則正しい生活習慣を確立するため、引き続き家庭と連携した取組を進めるほか、感染症対策をはじめとした安全教育の充実や、「新しい生活様式」を取り入れた学校生活の過ごし方について定着を図ります。

食育につきましては、子どもが発達段階に応じた食に関する知識と食習慣を身に付けられるよう、教科、特別活動と関連させて指導するとともに、食を楽しむ心を育むため体験学習を推進します。また、地元食材を積極的に活用し、地域で生産された食材を食する機会を提供するとともに、子どもの心身の健全な発達を促すため学校給食の充実を図ります。

⑦外国人児童生徒支援

外国人の住民増加に伴い、日本語指導が必要な外国人児童生徒は、年々増加傾向にあります。外国人児童生徒の学校における日本語の習得の支援、進路実現に向けた学びの支援をより一層充実させていく必要があり、特別の教育課程に基づき、継続的・計画的に日本語指導を進めると同時に、県から派遣される日本語指導員の巡回や母語が話せる外国人児童生徒支援員による丁寧な指導、支援を行ってまいります。

⑧教育センター機能の充実

教職員の資質や指導力向上を目指し、教育センターにおける研修の充実を図ります。特に、ICT機器の有効活用や学校マネジメント力の向上、また、若手教職員の資質向上等を目的とした研修に重点的に取り組みます。

教職員が働きやすい環境づくりに向け、また、保護者への支援として、不登校相談や発達相談等、教職員や保護者が抱える多様な課題について、関係機関と緊密に連携を図りながら改善や解決につなげていきます。さらに、社会性に困り感のある児童を対象とした発達支援教室や、土曜日に実施している週末教育事業を充実させることで、子どもの育ちや学びを支援してまいります。

⑨学校施設の整備等

令和2年度、市内13小中学校に太陽光発電設備の整備を行い、平時において二酸化炭素の排出を抑制するとともに避難所となる学校施設の防災機能強化を進めてまいりました。

なお、多くの学校は建築後30年以上が経過し、老朽化対策が必須となっており、今後、改修等の整備に多額の財政負担が生じます。そのため、維持管理、整備等に係る財政負担の平準化を行い、必要な整備を効率的かつ効果的に行うため「学校施設の長寿命化計画」を策定し、生活様式の変化やユニバーサルデザインの観点から必要となるトイレの洋式化・乾式化も含めて、中長期的な学校施設の整備を検討してまいります。

(3) 特別支援教育

特別な支援を要する児童生徒が年々増加している中で、障がいのある子どもも、ない子どもも、共に学べるための環境整備と個々の障がいの状況に応じた適切な学びの場の整備が必要となります。個別の教育支援計画・指導計画を作成・活用するとともに、パーソナルファイルの利用を促進し、保護者や関係機関と連携して、幼稚園、保育所(園)、認定こども園から小中学校まで途切れのないきめ細やかな支援を一層進めてまいります。生活面・学習面で困難やつまずきを感じている子どもに対して、特別支援学級・通級指導教室・通常の学級のそれぞれの場で個に応じた適切な支援を提供するため、自立支援員や学習サポーター等を配置いたします。自立活動や全ての子どもがわかりやすく理解できる授業の工夫、合理的配慮の提供などを行うための教職員向けの研修を充実してまいります。

また、集団活動や人との関係づくりが苦手な児童を対象とした「ぱりっ子チャレンジ教室」や、体験宿泊学習「ぱりっ子わくわくキャンプ」の実施により、子どもが自尊感情を高めるとともに、学校生活や家庭生活において、様々な学習や活動に自信を持って取り組める力の習得を目指します。これらを保護者の相談の場として活用していただき、保健・福祉・医療と連携して子どもの自立や、就学、進学、就労にもつながるよう支援してまいります。

《施策2 青少年健全育成》

(1) 社会参加活動の促進

子どもの居場所づくりを目的とする放課後子ども教室については、引き続き未実施地域での事業着手を積極的に支援いたします。また、地域住民の参画を得て、学習やスポーツ・文化活動等の異世代間交流の場を設けるなど、子どもと地域住民との交流活動等を推進してまいります。

地域における青少年健全育成活動等の指導者として活躍できるジュニアリーダーを引き続き養成するとともに、養成講座の修了者が引き続き社会参画できる仕組みの確立を目指して、「名張Kidsサポータークラブ」への活動機会の提供等、積極的に支援を行います。

(2) 健全な環境づくり

青少年を取り巻く環境や問題は年々変化しており、子どもの安心安全を守るための活動については、青少年補導センターが中心となって、地域や関係団体・機関と連携を図りながら、青少年の健全育成につなげていく必要があります。「名張少年サポートふれあい隊」との合同パトロールや「子どもを守る家事業」、市内店舗での青少年の状況確認、有害図書回収作業等を引き続き実施し、健全な環境づくりを推進いたします。

また、「校外生活指導連絡協議会」において、情報の集約・共有を行うとともに、関係機関による打合せ会や、「要保護児童対策及びDV対策地域協議会」との連携により、一層迅速で的確な対応を図れるよう取り組んでまいります。

第2節 生涯学習・生涯スポーツの推進

《施策1 生涯学習》

(1) 学習機会の総合的整備

生涯にわたってあらゆる機会にあらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる生涯学習社会の実現に向け取組を推進いたします。「第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画」及び「名張市の地域における生涯学習推進に関する指針」に示す生涯学習推進の視点「まなぶ」、「つどう」、「むすぶ」に基づき、多様な学習機会の提供や学びを通じた地域コミュニティの活性化に取り組みます。

また、「家庭・地域の教育力の向上」「持続可能な社会の創り手の育成」「子どもの社会への主体的参画」を目指し、子どもを核とした生涯学習ネットワークの構築に向けた取組を始めます。

生涯学習における人権教育・人権啓発の推進については、「第3次名張市人権施策基本計画」に基づき、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが自分らしく暮らせる社会を実現させるために、各市民センターで実施される主催講座等において、人権尊重を基本に捉え、地域の人権課題解決や、参加者のつながりを深める内容の講座を実施して、教育・啓発に取り組んでまいります。

(2) 学習成果を生かす仕組みづくり

地域における文化団体や市民との連携・協働を図るとともに、各市民センターの生涯学習リーダーで構成する生涯学習推進協議会を定期的開催しています。同協議会の機能を高める取組を進め、市民が生涯にわたって学び続けることができる場とともに、そこで学んだ人たちが学習成果を地域に還元し、市民全体の絆をつくり上げていく場の構築に努めてまいります。

(3) 高等教育機関等との連携

皇學館大学や近畿大学工業高等専門学校等の高等教育機関が実施する公開講座の情報を収集し、広く市民に受講を呼びかける取組を行っています。今後もその取組を継続するほか、ふるさと名張の歴史や文化を学ぶ講座「なばりカレッジ」において、高等教育機関や図書館等と連携して、内容を検討するとともに、ふるさと学習「なばり学」のテーマも取り入れ、市民の学びのニーズに適応した講座を企画してまいります。

また、青少年の社会参加活動につながる事業についても、高等教育機関等と連携して取り組んでまいります。

(4) 図書館サービスの充実

市立図書館は、子どもから高齢者まで全ての年齢層の市民の身近な情報拠点として、また、自由に読書に親しめる場として重要な役割を担っております。そのため、図書資料の収集に当たっては、利用者ニーズの的確な把握と、蔵書構成を意識した計画的な収集を行い、生涯学習拠点としての機能充実に努めてまいります。

また、学校図書館や関連機関と連携し、「第三次名張市子ども読書活動推進計画」の着実な推進を図るとともに、点字図書や録音図書を扱うサピエ図書館や点字図書館と連携し、多様な利用者がハンディの有無に関わらず、等しく図書館サービスを楽しむよう取組を進めてまいります。

さらに、地域づくり組織や市民活動団体、ボランティア等の様々な方々と連携し、地域活性化やまちづくり、幅広い世代の交流拠点としての機能の充実に努めるとともに、利用者サービスの向上と業務の効率化に向けて、図書館運営の在り方についても検討を進めてまいります。

《施策2 生涯スポーツ》

(1) スポーツ活動等の充実

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、「新しい生活様式」の中で、市民が安心安全かつ継続してのスポーツ活動が可能となるよう「名張ケンコー！マイレージ」等の活用により、子どもから高齢者まで幅広い世代の方がスポーツに親しむことができる機会を提供いたします。

また、より身近な地域で、誰もが様々なスポーツ活動を楽しむことを目的とした総合型地域スポーツクラブは、令和2年度に新たに創設された1クラブを含め、5つの総合型地域スポーツクラブが活動を行っています。引き続き既存の総合型地域スポーツクラブの支援を行いながら、市内の15地域の実情に応じて、新たなクラブ創設の機運向上を図ります。さらには、名張市スポーツ推進委員会を中心とした関係機関と連携を図りながら、市民のスポーツの日常化など活動の一層の充実を図ってまいります。

(2) スポーツ施設等の整備充実

体育施設整備では、市民テニスコートやマツヤマSSKアリーナ（市総合体育館）前の大駐車場に対する利用者のニーズに早急に対応できるよう、国等の財源確保に加えて、クラウドファンディング方式を活用するなど新たな財源確保の方式を取り入れ、整備に取り組んでまいります。

また、建築から相当年数が経過した体育施設につきましても、安心・安全にスポーツに親しめる環境の整備と合わせ、利用者のニーズに応じた利便性向上に向けて、指定管理者と緊密に連携を図りながら適切な維持管理に努めてまいります。

(3) 三重国体開催に向けた取組

令和3年度に開催される三重とこわか国体では、本市で、正式競技として、ホッケー、軟式野球、弓道、公開競技としては綱引、デモンストレーションスポーツのターゲット・バードゴルフの5種目が行われます。

コロナ禍で開催される最初の国体となりますが、必要な感染症対策を講じるなど、国体の成功に向けて関係機関と連携して万全の体制により準備を進めてまいります。

第3節 市民文化の創造

《施策1 文化振興》

(1) 市民文化の創造

美術展覧会や市民文化祭の開催、市内の文化団体等との連携により、一層の市民文化を育ててまいります。

青少年センター（adsホール）は本市の芸術文化活動の拠点であり、引き続き指定管理者と連携を密にしてセンターの利用促進を図ることで、市民文化の創造につなげてまいります。

(2) 文化資源の保護と活用

市内には数多くの文化財があり、そのうち特に貴重なものについては国・県・市の指定文化財となっております。これら指定文化財の適切な保護・保存に努めるとともに、郷土資料館を拠点にして、市民が「なばり」への愛着と誇りを持つことができるよう、指定文化財をはじめとした文化資源を活用しての企画展示や体験活動等を実施します。また、郷土資料館が、ふるさと学習「なばり学」の学習に活かされるよう努めてまいります。あわせて、夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡等の文化施設の利活用を通して、貴重な文化資源の保護と活用に取り組んでまいります。

(3) なばりの文化の振興

観阿弥祭、名張子ども伝統芸能祭り、伝統文化親子教室等の開催により、伝統芸能に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操を豊かに育み、創造性を高め、伝統文化の継承に努めてまいります。

また、毎年県内で開催されている「三重の能楽まつり」は、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策によりその開催が延期され、改めて令和3年度、本市での開催となります。「観阿弥創座の地なばり」としての能楽のふるさとづくりを一層推進してまいります。

《おわりに》

コロナ禍の中、学校は保護者や地域の皆様方の温かいご支援ご協力を得て、教育活動を実施することができています。ポストコロナを見据え、今回の保護者や地域の皆様方と培ってきたものを大切にしながら、新しい学校の姿を求めていく必要があります。

今後も、未来を担う子どもの教育環境の向上を目指した教育行政を教育委員会及び事務局職員が一丸となって推進してまいります。

2. 教育委員会

(1) 教育委員

① 現職教育長及び教育委員

(令和3年6月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	西山 嘉一	令和2年4月1日～令和5年3月31日
委員(教育長職務代理者)	藤本 幸生	令和2年10月2日～令和6年10月1日
委員	川原 尚子	平成27年12月22日～令和5年12月21日
〃	辻 愛	平成29年12月23日～令和3年12月22日
〃	丸下 純一	平成31年4月1日～令和5年3月31日

② 歴代教育長及び教育委員 (昭和31年10月1日以降)

「教育委員会法」の下、昭和27年にすべての市町村に教育委員会が設置されましたが、昭和31年10月1日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下、地行法)」が施行され、市長の任命による教育委員となりました。また、平成27年4月1日施行の地行法の改正により、市長が議会の同意を得て任命する教育委員長と教育長を一本化した新教育長となりました。

委員	委員長(再掲)	教育長(再掲)
柳島 信次郎(S31.10.1～34.2.28)	柳島 信次郎	
田中 登良之亮(S31.10.1～34.9.30)	(S31.10.1～32.9.30)	山下 芳郎
岡崎 奈良三(S31.10.1～47.9.30)		(S31.10.1～35.1.31)
藤堂 合子(S31.10.1～34.2.28)	岡崎 奈良三	
山下 芳郎(S31.10.1～35.1.31)	(S32.10.4～35.9.30)	
北橋 留蔵(S34.3.9～36.9.30)		上島 貞
藤山 嘉雄(S34.11.20～42.5.31)	高田 正夫	(S35.2.1～37.10.8)
高田 正夫(S34.3.9～36.10.13)	(S35.10.8～36.4.13)	
上島 貞(S35.2.1～37.10.8)		
勝矢 健次(S36.10.14～44.10.13)	北橋 留蔵	荒木 長雄
山中 正則(S36.10.14～43.9.30)	(S36.4.14～36.9.30)	(S37.12.3～45.12.12)
上村 進一郎(S42.7.22～50.12.21)		
北西 昌立(S43.10.1～47.9.30)	岡崎 奈良三	
三村 保(S44.12.16～52.12.16)	(S36.10.23～46.3.30)	
北森 義隆(S46.4.1～54.3.31)		北森 義隆
山本 弥三郎(S47.10.1～59.9.30)	三村 保	(S46.4.1～54.3.31)
川北 一夫(S48.3.24～56.3.31)	(S46.4.2～52.12.16)	
古田 昭作(S50.12.22～53.12.6)		

委 員	委 員 長 (再掲)	教 育 長 (再掲)
北森 茂 (S52. 12. 20～H1. 12. 22)		
北田 順三 (S54. 2. 6～58. 12. 16)	山本 弥三郎	福森 毅
福森 毅 (S54. 4. 1～H3. 3. 31)	(S52. 12. 21～59. 9. 30)	(S54. 4. 1～H3. 3. 31)
野村 拓 (S56. 4. 1～H1. 3. 31)		
辻 敬治 (S58. 12. 22～H14. 3. 9)		
松本 嘉一 (S59. 10. 1～H4. 9. 30)	北森 茂	
上森 守久 (H1. 12. 23～H4. 3. 31)	(S59. 10. 4～H1. 12. 22)	上森 守久
小林 昭三 (H1. 4. 1～H9. 3. 31)		(H3. 4. 1～4. 3. 31)
武田 道治 (H3. 4. 1～H7. 3. 31)		
梅田 馨 (H4. 4. 21～H9. 12. 22)	辻 敬治	
杉森 多巳 (H4. 10. 1～H8. 9. 30)	(H1. 12. 25～14. 3. 9)	梅田 馨
杉森 多巳 (H8. 10. 2～H12. 10. 1)		(H4. 4. 21～9. 12. 22)
藤本 良一 (H7. 4. 1～H15. 3. 31)		
手島 新蔵 (H9. 4. 1～H17. 3. 31)	森本 孝子	
森本 孝子 (H9. 12. 23～H21. 12. 22)	(H14. 6. 7～18. 6. 6)	手島 新蔵
安田 定雄 (H12. 10. 2～H16. 10. 1)		(H9. 12. 24～17. 3. 31)
松鹿 昭二 (H14. 6. 7～H23. 12. 21)		
奥野 幸代 (H15. 4. 1～H19. 3. 31)	松鹿 昭二	
北橋 正敏 (H16. 10. 2～H24. 10. 1)	(H18. 6. 7～H23. 12. 21)	
大窪 久代 (H23. 12. 22～H24. 12. 21)		
山本 智子 (H24. 12. 22～H27. 12. 21)		
上島 和久 (H17. 4. 1～H29. 3. 31)		上島 和久
福田 みゆき (H19. 4. 1～H31. 3. 31)		(H17. 4. 1～R3. 3. 31
松尾 真由美 (H21. 12. 23～H29. 12. 22)		※H29. 4. 1～新教育長)
瀧永 善樹 (H24. 10. 2～R3. 10. 1)	福田みゆき	
川原 尚子 (H27. 12. 22～)	(H23. 12. 27～H29. 3. 31)	
辻 愛 (H29. 12. 23～)		
丸下 純一 (H31. 4. 1～)		西山 嘉一
藤本 幸生 (R2. 10. 2～)		(R2. 4. 1～)

③ 教育委員会の会議

ア) 委員会開催状況（令和2年度）

開 会 日 数	議案件数	処 理 状 況		報 告 件 数	処 理 状 況	
		可 決	否 決		承 認	不 承 認
定例会： 12 日 臨時会： 2 日	16 件	16 件	0 件	24 件	24 件	0 件

イ) 委員会審議事項（□印は報告、○印は議案、△印は協議）

第1回定例会（R2.4.2）

- 臨時代理した事件（教育委員会職員の人事異動）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市学校の管理に関する規則の一部を改正する規則の制定）の承認について

第2回定例会（R2.5.8）

- 臨時代理した事件（名張市奨学金選考委員会委員の委嘱・任命及び解嘱・解任）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市立学校結核対策委員会委員の委嘱及び任命）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市社会教育委員の委嘱・任命及び解任）の承認について
- 臨時代理した事件（図書館協議会委員の任命及び解任）の承認について

第3回臨時会（R2.5.20）

- 名張市学校の管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について

第4回定例会（R2.6.5）

- 臨時代理した事件（令和2年度6月補正予算要求）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市学校運営協議会委員の委嘱及び任命）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市通学路交通安全推進会議委員の委嘱及び任命）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱及び任命）承認について
- 臨時代理した事件（名張市教育支援委員会委員の委嘱及び任命）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市スポーツ推進審議会委員の委嘱）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市教育センター運営協議会委員の委嘱及び任命）の承認について
- 名張市立幼稚園規則の一部を改正する規則の制定について

第5回定例会（R2.7.3）

- 臨時代理した事件（名張市スポーツ推進委員の委嘱及び解嘱）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市文化財調査会委員の委嘱）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市社会教育委員の委嘱）の承認について
- 名張市立小中学校事務処理等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
- △ 第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画（素案）の策定について

第6回定例会（R2.8.7）

- 臨時代理した事件（名張市青少年補導センター運営協議会委員の委嘱及び任命）の承認について
- 令和3年度使用中学校教科用図書採択について

第7回定例会（R2.8.26）

- 臨時代理した事件（令和2年度9月補正予算要求）の承認について
- △ 第二次名張市子ども教育ビジョン進捗状況報告について

第8回定例会（R2.10.7）

- 第二次名張市子ども教育ビジョン進捗状況報告について
- △ 令和2年度名張市スポーツ大賞表彰に関する審査について

第9回定例会（R2.11.4）

- 名張市奨学金条例の一部を改正する条例の制定について（具申）
- 名張市教育委員会所管施設防犯カメラの設置等に関する規程の制定について
- 名張市学校給食調理等業務民間委託業者選考委員会委員の委嘱及び任命について

第10回定例会（R2.12.2）

- 臨時代理した事件（令和2年度12月補正予算要求）の承認について
- △ 第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画（案）の策定について

第11回定例会（R3.1.7）

- 第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画（案）の確定について
- 名張市市立学校施設目的外使用規則及び名張市市立学校の体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- △ 令和3年度教育行政の方針と施策について
- △ 義務就学者の就学校の変更について

第12回定例会（R3.2.4）

- 臨時代理した事件（令和3年度当初予算要求）の承認について
- 名張市市立学校施設目的外使用規則及び名張市市立学校の体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- 令和3年度教育行政の方針と施策の決定について
- 令和2年度名張市教育委員会事務の点検・評価について

第13回定例会（R3.3.1）

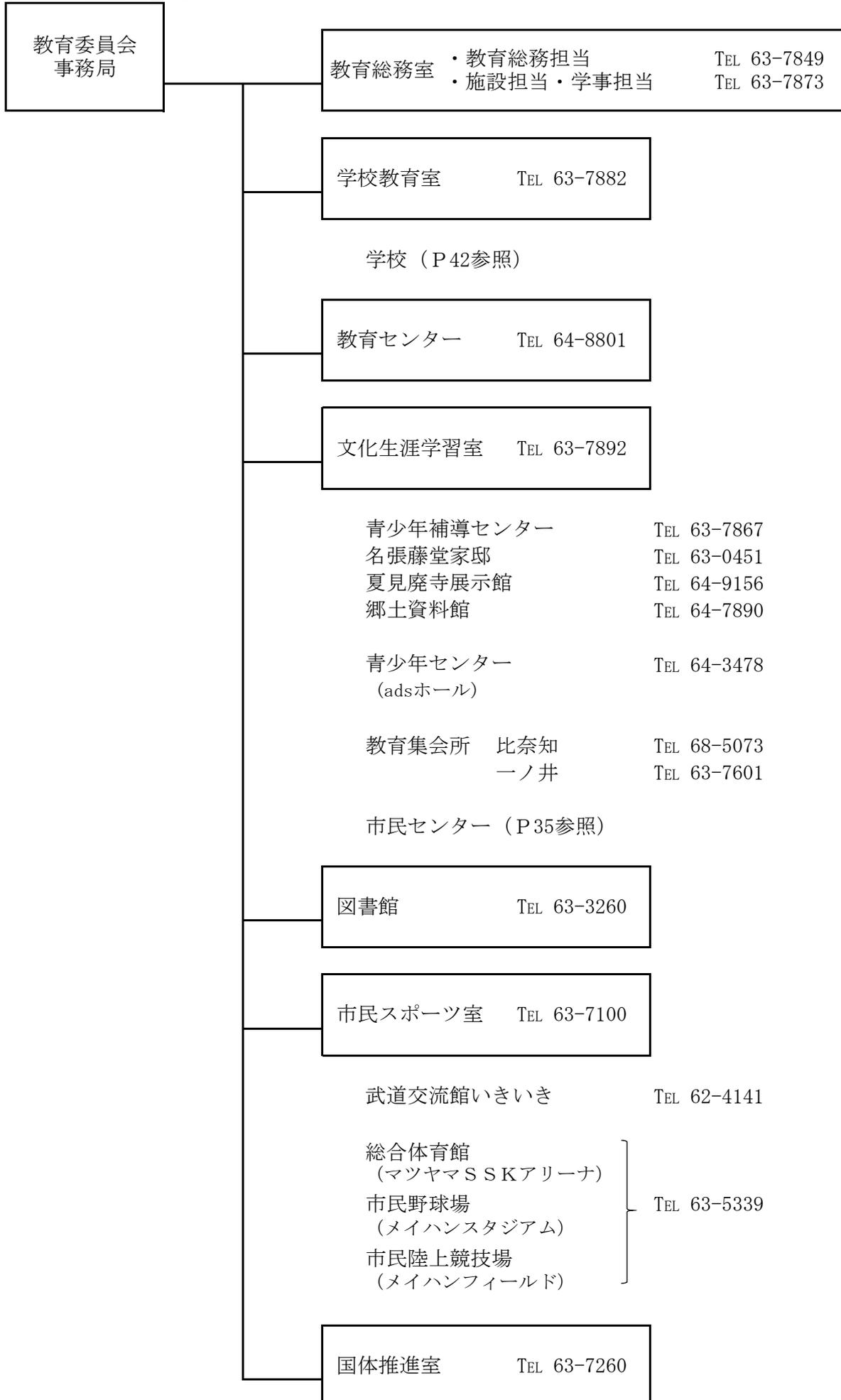
- 臨時代理した事件（令和2年度3月補正予算要求）の承認について
- 臨時代理した事件（名張市立図書館業務民間委託事業者選考委員の委嘱及び任命について
- 名張市立学校医、歯科医及び薬剤師の委嘱について
- 名張市立幼稚園医、歯科医及び薬剤師の委嘱について

- 名張藤堂家邸の設置及び管理に関する規則及び史跡夏見廃寺跡歴史の広場の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- 名張市文化財の指定について
- △ 令和3年度名張市学校（園）教育目標について

第14回臨時会（R3.3.12）

- 臨時代理した事件（県費負担教職員たる校長、教頭の任免（内申））の承認について

(2) 事務局組織



(3) 事務分掌

<名張市教育委員会事務局組織及び処務規則>

室	事務分掌
教育総務室	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育委員会の会議に関する事。 2 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事。 3 教育行政に関する相談に関する事。 4 他の室等に属しない給与に関する事。 5 公印保管に関する事。 6 学校の設置、廃止等に関する事。 7 学校予算の配当及び執行指導に関する事。 8 通学区に関する事。 9 児童生徒の就学に関する事。 10 学校の保健衛生に関する事。 11 日本スポーツ振興センターの災害共済に関する事。 12 学校給食に関する事。 13 児童生徒の就学援助及び遠距離通学費補助に関する事。 14 奨学金に関する事。 15 教材教具等の義務教育費国庫負担又は補助に関する事。 16 教科用図書及び教材教具の取扱いに関する事。 17 特別支援教育就学奨励費に関する事。 18 学校の整備計画に関する事。 19 学校の施設、設備及び備品の整備及び維持管理に関する事。 20 学校に係る教育財産の取得及び用途廃止に関する事。 21 学校の施設に関する事。 22 他の室等に属しない事。 23 教育委員会に係る政策の企画及び調整に関する事。 24 教育委員会に属する人事、予算、議会関係事務の総括に関する事。 25 教育委員会に属する条例、規則、規程等の総括に関する事。 26 教育委員会に係る「新しい公」の推進の統括に関する事。 27 教育委員会の危機管理の総括に関する事。 28 教育委員会に係る行政改革の実施の総括に関する事。 29 教育委員会に係る広聴広報に関する事。 30 教育委員会内職員の研修に関する事。 31 教育委員会内各室の連絡調整に関する事。 32 部間の業務の調整に関する事。 33 市長の補助機関である職員に補助執行させた義務就学者異動及び幼稚園に係る事務の教育委員会との調整に関する事。
学校教育室	<ol style="list-style-type: none"> 1 県費負担教職員の人事に関する事。 2 県費負担教職員の服務及び管理に関する事。 3 学級編制及び教職員組織に関する事。 4 教職員の免許及び検定に関する事。 5 教育課程その他教育計画に関する事。 6 学校の経営、行事及び運営に関する事。 7 学校及び幼稚園教育の指導助言に関する事。 8 教科、道徳及び特別活動の教育内容並びにその取扱いに関する事。 9 学校教育における人権及び同和教育の推進に関する事。 10 障害児の就学指導に関する事。 11 学校教育の実態把握に関する事。 12 学校評価の推進に関する事。 13 学校職員の労働安全衛生に関する事。

室	事務分掌
教育センター	<ol style="list-style-type: none"> 1 名張市教育センターの施設及び設備の管理に関する事。 2 教育研究及び教職員の研修に関する事。 3 教育に関する情報の収集及び提供に関する事。 4 保育所、幼稚園及び学校と保護者及び地域との連携の推進に関する事。 5 教育相談に関する事。 6 不登校児童生徒の支援に関する事。 7 関係機関等との連絡調整に関する事。
文化生涯学習室	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会教育委員に関する事。 2 社会教育行政の企画及び調査に関する事。 3 社会教育実施機関及び社会教育施設に関する事。 4 生涯学習の推進に関する事。 5 社会教育関係団体の育成、指導及び事業奨励に関する事。 6 図書館の整備計画に関する事。 7 青少年の育成施策の立案及び調整に関する事。 8 青少年に係る関係団体の育成、指導及び事業奨励に関する事。 9 名張市青少年補導センターの管理運営に関する事。 10 ユネスコ活動に関する事。 11 文化芸術振興に関する事。 12 文化団体の育成、指導及び事業奨励に関する事。 13 文化財保護に関する事。 14 文化財展示施設の管理運営に関する事。 15 観阿弥ふるさと公園の管理運営に関する事。 16 青少年センターの管理運営に関する事。 17 市史の編さん及び刊行に関する事。 18 資料の収集、保存及び活用に関する事。 19 市長の補助機関である職員に補助執行させた社会教育における人権及び同和教育に係る事務の教育委員会との調整に関する事。
市民スポーツ室	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会体育の普及及び奨励に関する事。 2 社会体育関係団体の育成指導及び事業奨励に関する事。 3 スポーツ推進審議会に関する事。 4 スポーツ推進委員に関する事。 5 体育施設の管理運営に関する事。 6 勤労者福祉会館の管理運営に関する事。 7 武道交流館いきいきの管理運営に関する事。
国体推進室	<ol style="list-style-type: none"> 1 第76回国民体育大会の開催に関する事。 2 第21回全国障害者スポーツ大会の開催に関する事。

<名張市立図書館規則>

図書館	<ol style="list-style-type: none"> 1 図書館の運営、企画及び会計事務に関する事。 2 文書の收受、発送及び保存並びに公印に関する事。 3 施設、設備、器具備品等の維持管理並びにその利用に関する事。 4 図書館協議会に関する事。 5 統計、要覧等の編集、発行及び広報に関する事。 6 関係諸団体との連絡調整に関する事。 7 図書館の庶務に関する事。 8 図書館資料の収集、寄贈、寄託及び整理並びに活用、保存に関する事。 9 図書館の電算処理業務に関する事。 10 図書館資料の閲覧、貸出し、複写等利用に関する事。 11 受付、案内、相談、施設見学等奉仕に関する事。 12 移動図書館及び巡回文庫に関する事。 13 読書会、研究会、講座、映画会、展示会等行事の企画、運営及び実施に関する事。
-----	--

(4) 教育委員会事務局等職員数の推移

()内は兼務者の人数

区 分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	職員	臨時職員	職員	臨時職員	職員	臨時職員	職員	会計年度 任用職員	職員	会計年度 任用職員	
教育長	1		1		1		1		1		
教育次長	1		1		1		1		1		
理事	1		1		1		0		0		
担当監	1 (1)		1 (1)				0		0		
教育総務室	12	2	11	3	10	3	11	2	11	2	
学校教育室	8 (1)	1	8 (1)	1	8 (1)	1	8 (1)	1	8 (1)	1	教育センター兼務1名
教育センター	3 (1)	2	3 (1)	1	3 (1)	1	3 (1)	1	3 (1)	1	学校教育室兼務1名
文化生涯学習室	8	3	9	2	8	2	10	3	8	3	令和元年度以前：職員数に社会教育指導員（特別職）1名含む 令和2年度～：会計年度任用職員に社会教育指導員1名を含む
市民スポーツ室	4 (2)	1	4 (2)	1	3	1	3(2)	1	4(2)	1	平成29・30年度：国体準備室兼務2名 令和2年度～：国体推進室兼務2名
国体推進室	3 (3)		3 (3)		5		9(2)	1	11(2)	1	平成29・30年度：担当監兼務1名 市民スポーツ室兼務2名 令和2年度～：市民スポーツ室兼務2名 (令和元年度に国体準備室から国体推進室に改称)
図書館	3		3		3		3		3		
計	41	9	41	8	42	8	46	9	47	9	

*職員には、常勤臨時職員、再任用職員、派遣職員及び育児休業等取得中の職員を含む。
ただし、併任者は除く。

*臨時職員（会計年度任用職員）は臨時事務員、臨時技術員で、概ね週25時間以上勤務の者。

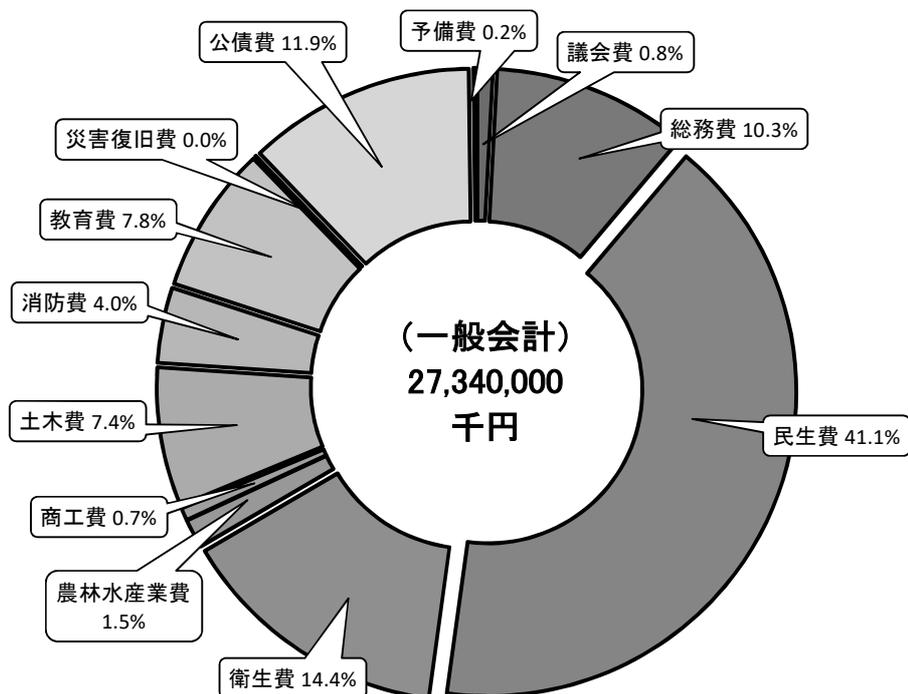
3. 教育予算及び決算

(1) 予算

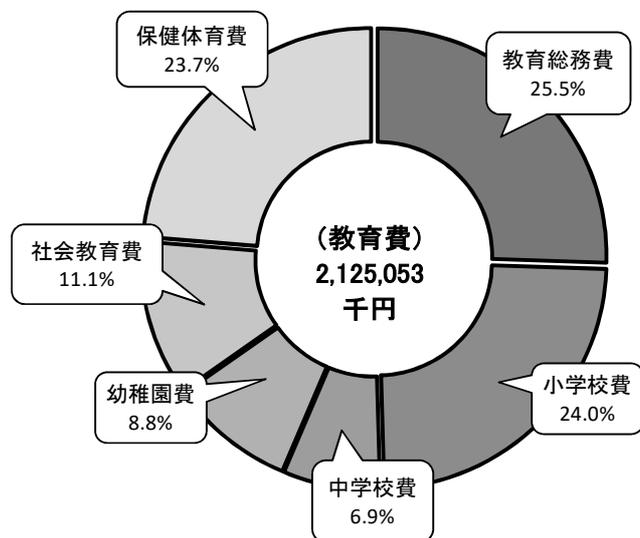
項 目	令和3年度	令和2年度	前年度比較	増減率(%)	令和3年度 構成比	令和2年度 構成比		
	(千円)	(千円)	(千円)					
歳 出	1 教育総務費	541,946	533,451	8,495	1.6	25.5%	19.8%	
	1教育委員会費	3,201	3,344	▲ 143	▲ 4.3			
	2事務局費	232,474	240,212	▲ 7,738	▲ 3.2			
	3教育振興費	306,271	289,895	16,376	5.6			
	2 小学校費	510,536	1,239,099	▲ 728,563	▲ 58.8	24.0%	45.9%	
	1小学校管理費	447,863	1,145,761	▲ 697,898	▲ 60.9			
	2教育振興費	62,673	93,338	▲ 30,665	▲ 32.9			
	3 中学校費	145,591	214,472	▲ 68,881	▲ 32.1	6.9%	8.0%	
	1中学校管理費	80,650	160,644	▲ 79,994	▲ 49.8			
	2教育振興費	64,941	53,828	11,113	20.6			
	4 幼稚園費	187,971	202,217	▲ 14,246	▲ 7.0	8.8%	7.5%	
	1公立幼稚園費	96,851	104,709	▲ 7,858	▲ 7.5			
	2私立幼稚園振興費	91,120	97,508	▲ 6,388	▲ 6.6			
	5 社会教育費	235,371	264,154	▲ 28,783	▲ 10.9	11.1%	9.8%	
	1社会教育総務費	99,837	79,558	20,279	25.5			
	2文化振興費	17,956	18,098	▲ 142	▲ 0.8			
	3図書館費	72,656	121,476	▲ 48,820	▲ 40.2			
	4青少年対策費	1,637	1,736	▲ 99	▲ 5.7			
	5社会教育施設費	12,677	13,177	▲ 500	▲ 3.8			
	6青少年センター費	30,608	30,109	499	1.7			
	6 保健体育費	503,638	243,516	260,122	106.8	23.7%	9.0%	
	1保健体育総務費	467,252	144,048	323,204	224.4			
	2体育施設費	36,386	99,468	▲ 63,082	▲ 63.4			
	教育費合計	2,125,053	2,696,909	▲ 571,856	▲ 21.2			
	財 源 内 訳	国県支出金	289,536	704,180	▲ 414,644	▲ 58.9	13.6%	26.1%
		地方債	7,800	289,700	▲ 281,900	▲ 97.3	0.4%	10.7%
その他		83,566	43,231	40,335	93.3	3.9%	1.6%	
一般財源		1,744,151	1,659,798	84,353	5.1	82.1%	61.5%	

※ 構成比については、端数処理により合計が100%にならない場合があります。

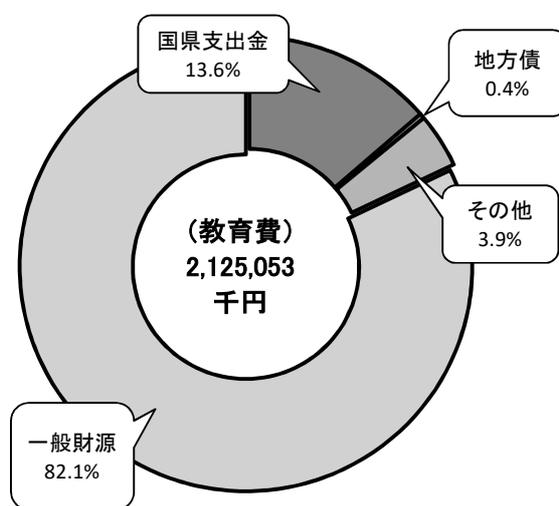
・令和3年度名張市一般会計予算歳出内訳



・教育費歳出内訳



・教育費財源内訳



※ 端数処理により、構成比率の合計が100%にならない場合があります

(2) 決算

		単 位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
			決 算	決 算	決 算	決 算	決 算
人 口	5月1日現在	人	80,695	80,170	79,515	78,915	78,590
市立小学校児童数	5月1日現在	人	4,096	4,082	4,067	4,067	4,036
市立中学校生徒数	5月1日現在	人	2,107	2,076	2,031	1,975	1,952
市立幼稚園園児数	5月1日現在	人	141	146	139	123	104
教育総務費		千円	510,212	480,113	441,800	470,517	516,526
	教育委員会費	千円	4,386	4,128	3,270	2,885	2,695
	事務局費	千円	300,961	254,803	220,259	228,147	257,389
	教育振興費	千円	204,865	221,182	218,271	239,485	256,442
小学校費		千円	1,798,947	501,007	552,103	573,927	1,873,562
	小学校管理費	千円	1,729,933	425,491	438,550	518,379	1,822,026
	教育振興費	千円	69,014	75,516	113,553	55,548	51,537
中学校費		千円	842,502	164,401	130,636	422,686	871,235
	中学校管理費	千円	793,234	107,417	80,476	377,091	822,085
	教育振興費	千円	49,268	56,984	50,160	45,595	49,150
幼稚園費		千円	232,174	230,656	224,142	191,387	190,716
	公立幼稚園費	千円	132,011	126,476	117,662	127,284	128,740
	私立幼稚園振興費	千円	100,163	104,180	106,480	64,103	61,976

※ 表示単位未満は四捨五入のため、各計と一致しない場合があります。

		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
			決算	決算	決算	決算	決算
社会教育費		千円	391,641	227,958	301,635	228,698	219,793
	社会教育総務費	千円	70,732	85,127	83,543	91,637	87,302
	文化振興費	千円	28,802	31,682	32,843	27,723	18,674
	公民館費	千円	187,009	-	-	-	-
	図書館費	千円	66,581	66,890	66,676	65,332	68,776
	青少年対策費	千円	1,330	1,572	1,349	1,475	1,460
	社会教育施設費	千円	11,225	11,357	11,564	12,901	13,420
	青少年センター費	千円	25,962	31,330	105,660	29,630	30,162
保健体育費		千円	108,617	505,801	128,585	219,830	391,020
	保健体育総務費	千円	32,715	43,256	40,248	139,497	262,604
	体育施設費	千円	75,902	462,545	88,337	80,333	128,416
教育費合計		千円	3,884,093	2,109,936	1,778,901	2,107,045	4,062,852

教育費	市民一人当たり	円	48,133	26,318	22,372	26,700	51,697
教育総務費	市民一人当たり	円	6,323	5,989	5,556	5,962	6,572
小学校費	市立小学校 児童一人当たり	円	439,196	122,736	135,752	141,118	464,213
中学校費	市立中学校 生徒一人当たり	円	399,859	79,191	64,321	214,018	446,329
公立幼稚園費	市立幼稚園 園児一人当たり	円	936,248	866,274	846,489	1,034,829	1,237,885
社会教育費	市民一人当たり	円	4,853	2,843	3,793	2,898	2,797
保健体育費	市民一人当たり	円	1,346	6,309	1,617	2,786	4,975

※小学校費及び中学校費には、給食調理員、用務員等の職員以外の県費負担教職員の人件費を含んでいません。
※表示単位未満は四捨五入のため、各計と一致しない場合があります。

4. 教育施設

(1) 学校等施設の沿革

年次	記事	年次	記事
昭和22年	<ul style="list-style-type: none"> ・新学制による小学校、中学校発足(6・3制) ・新制中学校名張、美旗、周和、錦滝の4校設立 	昭和46年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張幼稚園開園 ・蔵持小学校大屋戸分校廃止 ・美旗小学校中村分校設置
昭和23年	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校統廃合により北中学校、南中学校の2校となる ・学校再配置により蔵持小学校を閉校とし、名張小学校へ合併 ・名張小学校大屋戸分校教場をもって蔵持小学校を再建 ・新制高等学校を発足 ・教育委員会制度発足 	昭和47年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張小学校屋内運動場竣工 ・蔵持小学校新校舎竣工 ・桔梗が丘小学校開校 ・箕曲小学校水泳プール竣工
昭和25年	<ul style="list-style-type: none"> ・北中学校を閉校とし、南中学校へ統合 ・西中学校開校 ・蔵持小学校旧本校舎に復元 	昭和48年	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵持小学校屋内運動場竣工 ・蔵持小学校水泳プール竣工 ・名張桔梗丘高等学校開校
昭和26年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張町に錦生村、比奈知村、美濃波多村合併 ・南中学校を名張中学校と改称 ・西中学校を赤目中学校と改称 	昭和49年	<ul style="list-style-type: none"> ・桔梗が丘小学校屋内運動場及び水泳プール竣工 ・赤目中学校屋内運動場竣工
昭和27年	<ul style="list-style-type: none"> ・国津中学校が名張中学校分校より独立 	昭和50年	<ul style="list-style-type: none"> ・赤目中学校新校舎竣工
昭和28年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張中学校新校舎竣工 	昭和51年	<ul style="list-style-type: none"> ・桔梗が丘南小学校開校 ・箕曲小学校新校舎竣工
昭和29年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張町、滝川村、箕曲村、国津村が合併して名張市誕生 	昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> ・薦原小学校新校舎竣工 ・名張幼稚園新園舎竣工 ・名張小学校水泳プール竣工
昭和30年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張小学校新校舎竣工 	昭和53年	<ul style="list-style-type: none"> ・比奈知小学校新校舎竣工
昭和31年	<ul style="list-style-type: none"> ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の制定により市町村教育委員会制度改正 	昭和54年	<ul style="list-style-type: none"> ・美旗小学校新校舎竣工 ・桔梗南幼稚園開園 ・美旗小学校中村分校県立移管 ・名張中学校中村分校県立移管
昭和32年	<ul style="list-style-type: none"> ・古山村大字南を名張市に編入 	昭和55年	<ul style="list-style-type: none"> ・桔梗が丘東小学校開校 ・赤目小学校新校舎竣工 ・桔梗が丘東小学校水泳プール竣工
昭和35年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張中学校体育館竣工 	昭和56年	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじが丘小学校開校 ・北中学校開校 ・比奈知小学校屋内運動場竣工 ・箕曲小学校屋内運動場竣工
昭和36年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張中学校6教室増築 		
昭和37年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張高等学校本館竣工 		
昭和40年	<ul style="list-style-type: none"> ・赤目小学校長坂分校廃止 		
昭和43年	<ul style="list-style-type: none"> ・国津中学校閉校 ・桔梗が丘中学校開校 		
昭和44年	<ul style="list-style-type: none"> ・桔梗が丘中学校屋内運動場竣工 		
昭和45年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張小学校第3期工事竣工 ・赤目小学校水泳プール竣工 		

年次	記事	年次	記事
昭和56年	・錦生小学校新校舎竣工 ・つつじが丘小学校水泳プール竣工	平成6年	・桔梗が丘中学校技術教室改築及び格技場竣工 ・桔梗が丘中学校第2グラウンド整備
昭和57年	・美旗小学校屋内運動場竣工 ・薦原小学校屋内運動場竣工 ・長瀬小学校新校舎竣工	・赤目中学校校舎増築 ・名張中学校校舎増築	
昭和58年	・南中学校開校 ・薦原小学校新水泳プール竣工 ・美旗小学校新水泳プール竣工 ・滝之原小学校新校舎竣工	・桔梗が丘小学校校舎改造 ・桔梗が丘小学校水泳プール改築	
昭和59年	・すずらん台小学校開校 ・すずらん台小学校水泳プール竣工 ・滝之原小学校新水泳プール竣工	平成7年	・長瀬小学校水泳プール更衣室竣工
昭和60年	・長瀬小学校屋内運動場竣工 ・名張中学校新管理棟竣工 ・赤目中学校、北中学校、南中学校にパソコンを設置 ・滝之原小学校屋内運動場竣工	平成8年	・比奈知小学校更衣室及び体育器具庫竣工 ・名張中学校職員室拡張 ・北中学校校門整備
昭和61年	・名張中学校、桔梗が丘中学校にパソコンを設置	平成9年	・名張小学校水泳プール更衣室竣工 ・赤目中学校クラブ室増築 ・赤目小学校駐車場整備
昭和62年	・三重県立名張西高等学校開校 ・国津小学校新校舎・水泳プール及び体育館竣工 ・市内小学校パソコン設置	平成10年	・蔵持小学校校舎耐震補強及び改修 ・蔵持小学校給食室改築 ・桔梗が丘南小学校水泳プール更衣室竣工
昭和63年	・名張小学校校舎改造	平成11年	・錦生小学校校舎(特別教室棟)増築
平成元年	・梅が丘小学校開校 ・北中学校格技場竣工	平成12年	・薦原小学校校舎(特別教室棟)増築
平成2年	・梅が丘小学校校舎(9教室)増築 ・名張中学校校舎(11教室)増築 ・南中学校格技場竣工	平成13年	・名張中学校第2グラウンド整備
平成3年	・桔梗が丘中学校校舎改造 ・名張幼稚園園舎増築	平成16年	・百合が丘小学校給食調理等業務民間委託開始
平成4年	・百合が丘小学校開校 ・百合が丘小学校水泳プール竣工 ・赤目中学校格技場竣工	平成17年	・市内小中学校職員室・校長室空調整備 ・美旗小学校給食調理等業務民間委託開始
平成5年	・名張中学校屋内運動場及び格技場竣工	平成18年	・名張小学校給食調理等業務民間委託開始
		平成19年	・梅が丘小学校給食調理等業務民間委託開始 ・教育研究所開設
		平成20年	・長瀬小学校閉校 ・旧長瀬小学校を普通財産へ異動 ・名張小学校屋内運動場耐震補強及び改修 ・つつじが丘小学校給食調理等業務民間委託開始
		平成21年	・桔梗が丘中学校屋内運動場耐震補強及び改修 ・箕曲小学校屋内運動場耐震補強及び改修 ・桔梗が丘小学校屋内運動場耐震補強及び改修

年次	記事	年次	記事
平成21年	<ul style="list-style-type: none"> ・桔梗が丘小学校給食調理等業務民間委託開始 ・名張中学校校舎耐震補強及び改修 	平成27年	<ul style="list-style-type: none"> ・美旗小学校校舎耐震補強及び改修 ・比奈知小学校校舎耐震補強及び改修
平成22年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張小学校校舎耐震補強及び改修 ・名張小学校、すずらん台小学校、梅が丘小学校及び百合が丘小学校太陽光発電設備整備 		<ul style="list-style-type: none"> ・桔梗が丘南小学校校舎耐震補強並びに屋内運動場耐震補強及び改修 ・北中学校昇降口耐震補強及び改修並びに屋内運動場耐震補強及び改修
平成23年	<ul style="list-style-type: none"> ・赤目中学校屋内運動場耐震補強及び改修 ・つつじが丘小学校屋内運動場耐震補強及び改修 ・小学校給食室空調整備完了 ・錦生小学校屋内運動場耐震補強及び改修 	平成28年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張中学校屋内運動場吊天井落下防止対策工事 ・南中学校格技場吊天井落下防止対策工事
平成24年	<ul style="list-style-type: none"> ・比奈知小学校屋内運動場耐震補強及び改修 ・名張市教育センター竣工 	平成30年	<ul style="list-style-type: none"> ・錦生赤目小学校空調設備整備工事 ・名張中学校空調設備整備工事 ・赤目中学校空調設備整備工事 ・北中学校空調設備整備工事 ・南中学校空調設備整備工事
平成25年	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究所廃止 ・薦原小学校屋内運動場耐震補強及び改修 ・つつじが丘小学校校舎耐震補強及び改修 ・滝之原小学校閉校 ・国津小学校閉校 ・錦生小学校閉校 ・赤目小学校閉校 (平成26年度、錦生赤目小学校として開校) 	令和元年	<ul style="list-style-type: none"> ・箕曲小学校空調設備整備 ・名張小学校、蔵持小学校、薦原小学校、比奈知小学校、美旗小学校、桔梗が丘小学校、桔梗が丘南小学校、桔梗が丘東小学校、つつじが丘小学校、すずらん台小学校、梅が丘小学校、百合が丘小学校自立発電機能付空調設備及びLED照明設備整備 ・旧名張桔梗丘高等学校を桔梗が丘中学校へ整備を行い移転 ・旧桔梗が丘中学校を普通財産へ異動
平成26年	<ul style="list-style-type: none"> ・旧錦生小学校、旧滝之原小学校及び旧国津小学校を普通財産へ異動 ・錦生赤目小学校開校 ・薦原小学校校舎耐震補強 ・美旗小学校屋内運動場耐震補強及び改修 ・箕曲小学校校舎耐震補強 ・桔梗が丘小学校校舎耐震補強 ・桔梗が丘東小学校校舎耐震補強並びに屋内運動場耐震補強及び改修 ・桔梗が丘中学校校舎耐震補強 ・赤目中学校校舎耐震補強及び改修 (平成26、27年度2ヶ年事業) 	令和2年	<ul style="list-style-type: none"> ・名張小学校、蔵持小学校、薦原小学校、比奈知小学校、美旗小学校、桔梗が丘小学校、桔梗が丘南小学校、桔梗が丘東小学校、つつじが丘小学校、すずらん台小学校、梅が丘小学校、百合が丘小学校、桔梗が丘中学校太陽光発電設備整備 ・各小中学校無線通信ネットワーク設備整備 ・各中学校普通教室大型掲示装置整備

(2) 学校教育施設

令和3年5月1日現在

① 小学校

施設 学校名	学校用地		校舎			屋内運動場			給食室			水泳プール	
	敷地面積	運動場面積	構造	床面積	建築年	構造	床面積	建築年	構造	床面積	建築年	構造	建築年
名張	23,308	10,514	R	5,116	S30, 38, 45	R	929	S47	S	203	S45	A	S52
蔵持	14,653	6,396	R	2,877	S47, 51	R	612	S48	S	136	H10	C	S48
薦原	21,732	12,591	R, S	2,147	S52, H13	R	652	S57	R	112	S52	A	S58
比奈知	20,362	11,513	R	3,440	S53	R	859	S56	R	125	S53	C	S46
美旗	20,348	11,808	R	3,885	S54, 58	R	760	S57	R	135	S54	A	S59
箕曲	15,836	8,317	R	2,978	S51, 55	R	684	S56	R	112	S51	C	S47
錦生赤目	14,726	9,646	R	3,160	S55	R	681	S58	R	158	S55	C	S45
桔梗が丘	15,685	7,150	R, S	3,336	S47, 50	R	612	S49	S	209	S47	A	H7
桔梗が丘南	23,741	11,000	R	4,033	S51, 57	R	760	S51	R	99	S51	A	S51
桔梗が丘東	23,094	11,000	R	3,893	S55, 57	R	760	S55	R	137	S55	A	S55
つつじが丘	36,992	14,076	R	5,501	S56, 58	R	765	S56	R	195	S56	A	S56
すずらん台	41,717	14,194	R	3,289	S59	R	760	S59	R	140	S59	A	S59
梅が丘	37,201	17,633	R	5,752	H1, 2	R	790	H1	R	177	H1	A	H1
百合が丘	30,790	11,782	R, S	6,399	H4	S	935	H4	R	210	H4	A	H4

② 中学校

施設 学校名	学校用地		校舎			屋内運動場			格技場		
	敷地面積	運動場面積	構造	床面積	建築年	構造	床面積	建築年	構造	床面積	建築年
名張	20,771	8,819	R, S	7,375	S27, 36, 61 H2, 3, 7	R	2,657	H6	R	452	H6
赤目	24,763	12,155	R	6,120	S49, 50, H2	R	1,124	S49	S	398	H5
桔梗が丘	60,106	27,747	R	11,124	S48, 50, 52 58, 63, H8	R	1,298	S50	S	345	S48
北	51,104	17,150	R	6,770	S56, 59	R	1,112	S56	S	399	H2
南	42,071	17,800	R	5,170	S58, 61	R	1,057	S58	S	399	H3

*構造…R：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、A：アルミ、C：コンクリート

*校舎床面積…給食室、他用途での使用（空教室での放課後児童クラブ活動等）部分を除く。

(3) 社会教育等施設の沿革

年次	記 事	年次	記 事
昭和38年	・青少年補導センター発足	昭和63年	・市民ゲートボール場竣工
昭和39年	・総合市民会館竣工	平成元年	・郷土資料室開室
昭和44年	・市立図書館開館 (図書館内名張公民館併設)		・つつじが丘公園テニスコート竣工
	・総合市民会館内中央公民館併設	平成3年	・一ノ井教育集会所竣工
	・市民プール(25m)竣工		・八幡2号公園運動場竣工
昭和45年	・柔剣道々場竣工	平成4年	・名張藤堂家邸跡公開
昭和46年	・市民テニスコート竣工	平成5年	・錦生公民館竣工
昭和48年	・一ノ井教育集会所竣工		・赤目公民館取得
昭和49年	・百々教育集会所竣工	平成6年	・つつじが丘公園グラウンド竣工
昭和50年	・比奈知公民館竣工(改)		・つつじが丘公園グラウンドゴルフ場竣工
昭和51年	・錦生公民館竣工(改)		・赤目公民館改修
	・赤目公民館竣工	平成7年	・史跡夏見廃寺跡歴史の広場竣工
	・美旗公民館竣工		・比奈知公民館竣工
	・青蓮寺公民館竣工		・観阿弥ふるさと公園竣工
昭和51年	・箏曲公民館竣工	平成8年	・梅が丘市民センター竣工
昭和52年	・総合体育館竣工	平成9年	・百合が丘市民センター竣工
昭和53年	・国津公民館竣工		・赤目公民館改修
	・桔梗が丘公民館竣工	平成10年	・美旗市民センター竣工
	・長瀬公民館竣工	平成11年	・すずらん台市民センター竣工
	・市民野球場竣工	平成12年	・赤目公民館改修
昭和54年	・市民陸上競技場竣工	平成13年	・名張教育会館竣工
	・比奈知教育集会所竣工	平成14年	・ターゲット・バードゴルフ場竣工
	・薦原公民館竣工	平成16年	・地区公民館の管理運営業務を地域づくり 委員会へ順次委託開始
昭和55年	・蔵持公民館竣工		・くにつふるさと館竣工(国津公民館を併設)
昭和56年	・市民プール50m(公認)竣工	平成17年	・地区公民館の管理運営業務を地域づくり 委員会へ委託(全館)
昭和57年	・名張公民館竣工(中央公民館を併設)		・つつじが丘公民館多目的ホール増築
昭和58年	・名張市青少年センター竣工	平成18年	・地区公民館の指定管理者による管理運営 開始(全館)
昭和59年	・桔梗が丘南公民館竣工		・体育施設の指定管理者による管理運営開始 (柔剣道々場を除く)
昭和60年	・つつじが丘公民館竣工		・武道交流館いきいき竣工(中央公民館を併設)
昭和61年	・蔵持公民館増築		・柔剣道々場廃止
昭和62年	・新市立図書館竣工		
	・薦原公園テニスコート竣工		
	・薦原公園ソフトボール場竣工		

年次	記事	年次	記事
平成18年	・市立図書館カウンター業務等一部民間委託開始		・名張市武道交流館いきいき指定管理者更新 (令和2年3月31日まで)
平成19年	・箕曲公民館増築 ・薦原公民館多目的ホール増築	平成28年	・公民館の市民センター化 ・名張市青少年センター指定管理者による管理運営開始(令和3年3月31日まで)
平成20年	・桔梗が丘公民館改修		・名張市青少年センターネーミングライツ更新 『アドバンスコープADSホール』 (令和3年3月31日まで)
平成21年	・中央公民館(いきいきに併設)の廃止 ・武道交流館いきいきの指定管理者による管理運営開始 ・体育施設の指定管理者による管理運営の更新 ・地区公民館の指定管理者による管理運営の更新 ・名張市青少年センター改修	平成29年	・名張市民陸上競技場改修工事 トラック部:全天候型(ポリウレタン舗装) インフィールド部:人工芝 ・名張市民陸上競技場ネーミングライツ制度の導入により『メイハンフィールド』の名称を使用開始 ・名張市青少年センター(アドバンスコープADSホール)吊天井落下防止対策工事 ・名張市青少年センター(アドバンスコープADSホール)音響設備改修工事
平成22年	・名張市青少年センターの指定管理者による管理運営開始(平成25年3月31日まで) ・名張市青少年センターネーミングライツ制度の導入により『アドバンスコープADSホール』の名称を使用開始 ・名張市中央ゆめづくり館(名張市防災センター)竣工	平成30年	・市民野球場ネーミングライツ更新 『メイハンスタジアム』 (令和5年3月31日まで)
平成23年	・錦生公民館増築 ・箕曲公民館増築 ・市民プール50m改修工事		・名張市体育施設有料広告掲載制度の導入により、市総合体育館内に有料広告掲載枠を設置 ・名張市青少年センターネーミングライツ名称を『adsホール』に改める
平成24年	・市民野球場改修工事(防球ネット設置等) ・体育施設の指定管理者による管理運営の更新 ・武道交流館いきいきの指定管理者による管理運営の更新	令和元年	・市民ホッケー場竣工 ・市総合体育館ネーミングライツ更新 『マツヤマSSKアリーナ』 (令和7年3月31日まで)
平成25年	・百合が丘市民センター駐車場整備 ・赤目公民館駐車場整備 ・総合体育館耐震改修工事 ・市民野球場ネーミングライツ制度の導入により『メイハンスタジアム』の名称を使用開始		・市民ホッケー場ネーミングライツ更新 『はなの里スタジアム』 (令和7年3月31日まで)
平成26年	・蔵持公民館増築 ・旧滝之原小学校駐車場整備	令和2年	・名張市体育施設指定管理者更新 (令和7年3月31日まで) ・名張市武道交流館いきいき指定管理者更新 (令和7年3月31日まで)
平成27年	・総合体育館ネーミングライツ制度の導入により『HOS名張アリーナ』の名称を使用開始 ・名張市郷土資料館竣工 ・新田ゲートボール場屋根付設置工事 ・百合が丘市民センター増改築 ・名張市体育施設指定管理者更新 (令和2年3月31日まで)		

(4) 社会教育等施設

① 図書館

名称	所在地	構造	建築年度	建築延面積 (㎡)	職員	
					館長	事務職員
市立図書館	桜ヶ丘	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和61年	2,070	1	2

② 文化会館

名称	所在地	構造	建築年度	建築延面積 (㎡)	職員	
					館長	事務職員
青少年センター (adsホール)	松崎町	鉄筋コンクリート造 4階建	昭和58年 平成6年(増築)	2,425 444	1	3

※指定管理者による管理・運営

③ 教育集会所

名称	所在地	構造	建築年度	建築延面積 (㎡)	職員	
					館長	事務職員
比奈知教育集会所	下比奈知	鉄筋コンクリート 平屋建	昭和54年	204	併1	併2
一ノ井教育集会所	赤目町 一ノ井	鉄筋造2階建 (一ノ井児童館と 複合施設)	平成3年	196	併1	併4
百々教育集会所	神屋	木造平屋建	昭和49年	124	—	—

④ 武道交流館いきいき

名称	所在地	構造	建築年度	建築延面積 (㎡)	
武道交流館いきいき	蔵持町里	鉄筋コンクリート造 2階建一部鉄骨造	平成18年	4,773.55 (うち交流館部分 838.70)	多目的ホール 市民交流室 和室 料理教室 工芸室 まちづくり活動室 会議室1 会議室2 健康トレーニング室

※指定管理者による管理・運営

⑤ 体育施設

名称	所在地	構造	建築年度	建物延面積 (㎡)	備考
総合体育館 (マツヤマSSKアリーナ)	夏見	鉄筋コンクリート造 2階建・一部3階	昭和52年	4,386	主競技場 バレーボール3面 バドミントン6面 バスケットボール2面 卓球27台 テニス2面 ハンドボール1面 卓球室5台 トレーニング室 収容人員 1階2,100人 2階 880人
市民プール	夏見	50m 25m 幼児用	昭和56年 昭和44年 昭和45年	10,344	8コース、水深1.2m～1.4m 7コース、水深1.14m 水深30cm～60cm
市民テニスコート	夏見	ハードコート4面 オムニコート5面	新設 昭和46年～63年 人工芝 平成14年～	10,227	9面(うち6面夜間照明有り)
市民野球場 (メイハンスタジアム)	夏見	—	昭和53年	敷地 26,900 グラウンド 14,000	両翼 91.4m センター 120m 観客収容人員 10,000人
市民陸上競技場 (メイハンフィールド)	夏見	—	昭和54年 トラック:全天候型 フィールド:人工芝 平成29年～	敷地 22,260 フィールド 10,006	1周400m 8レーン 観客収容人員800人 (メインスタンド)
市民ゲートボール場	夏見	—	昭和63年	敷地 1,780	ゲートボール2面
ターゲット・バードゴルフ場	夏見	—	平成14年	敷地 3,634	9ホール バー32
薦原公園	薦生	—	昭和62年	敷地 17,000	ソフトボール1面 テニス2面 ゲートボール2面
つつじが丘公園	つつじが 丘南5番町	—	平成元年	敷地 22,860	テニス2面 ゲートボール1面 多目的グラウンド1面 グラウンドゴルフ場9ホール
八幡2号公園運動場	八幡	—	平成3年	敷地 13,437	ソフトボール2面 サッカー1面 陸上競技1面(夜間照明有り)
新田ゲートボール場	新田	鉄筋造りテント張り	平成28年	敷地 977	ゲートボール2面
市民ホッケー場 (はなの里スタジアム)	百合が丘	人工芝	令和元年	7,074	タテ 55m 横 91.4m

※総合体育館から市民陸上競技場は指定管理者による管理・運営

名 称	所在地	構 造	建築年度	建物延面積(m ²)	備 考
武道館 (武道交流館いきいき内)	蔵持町里	鉄筋コンクリート造 2階建・一部鉄骨造	平成18年	武道館部分 2,030.59	第1道場 751.68m ² 第2道場 751.68m ² 弓道場 527.23m ²
滝之原体育館	滝之原	鉄筋コンクリート造	昭和60年	648	
滝之原運動場	滝之原	—	明治5年	6,075	
錦生体育館	安部田	鉄筋コンクリート造	昭和56年	648	
錦生運動場	安部田	—	明治6年	3,990	
国津体育館	神屋	鉄筋コンクリート造	昭和62年	651	
国津運動場	神屋	—	明治8年	7,341	
長瀬体育館	長瀬	鉄筋コンクリート造	昭和61年	5,281	

⑥ 郷土資料館

名 称	所在地	構 造	建築年度	建物延面積(m ²)	備 考
名張市郷土資料館	安部田 (旧錦生小学校 校舎)	鉄筋コンクリート造 3階建	昭和 56年 3月 (※平成27年4月 名張市郷土資料館 開館)	1,990	<1階> 790m ² 図書室 <2階> 600m ² 展示室1 展示室2 企画展示室 体験教室 事務室 <3階> 600m ² 講座室 収蔵庫

⑦ 市民センター

名 称	所在地	構 造	建築年度	建物延面積 (㎡)	職 員	
					館長	事務職員
名張市民センター	上八町	鉄筋コンクリート造 2階建・和室	昭和57年	1,248	1	4
蔵持市民センター	蔵持町原出	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和55年 平成26年(増築)	588	1	3
薦原市民センター	薦生	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和54年 平成19年(増改 築)	634	1	4
美旗市民センター	美旗町南西原	鉄筋コンクリート造 2階建	平成10年	1,417	1	7
比奈知市民センター	下比奈知	木造平屋建	平成7年	492	1	3
錦生市民センター	安部田	木造平屋建	平成5年 平成23年(増築)	415	1	1
赤目市民センター	赤目町丈六	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和50年	1,031	1	2
箕曲市民センター	夏見	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和51年 平成23年(増築)	444	1	3
くにつふるさと館	神屋	鉄骨造平屋建	平成16年	432	}	1
長瀬市民センター	長瀬	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和53年	334		
桔梗が丘市民センター	桔梗が丘	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和53年 平成20年(増改築)	1,658	}	1
桔梗が丘南市民センター	桔梗が丘	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和59年	409		
つつじが丘市民センター	つつじが丘	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和59年 平成16年(増 築)	1,482	1	5
梅が丘市民センター	梅が丘	鉄筋コンクリート造 平屋建	平成8年	677	1	4
百合が丘市民センター	百合が丘	鉄骨造平屋建	平成9年 平成27年(増改築)	849	1	5
すずらん台市民センター	すずらん台	木造平屋建	平成10年	499	1	5
中央ゆめづくり館 (名張市防災センター)	鴻之台	鉄筋コンクリート造 2階建	平成22年	466	1	4

※指定管理者による管理・運営。中央ゆめづくり館は生涯学習活動推進事業による委託。

(5) 未利用土地の状況

No.	財産 区分 (施設名)	土地の所在地	地目	面積(m ²)	担当 部署	活用状況
1	(小学校用地) 行政財産	桔梗が丘西 4-2-88	宅地	25,936.33	教育総務室	多目的グラウンドとして使用
2	(中学校用地) 行政財産	梅が丘南 5-181	雑種地	29,419.00	教育総務室	名張中学校第2グラウンドとして使用
3		梅が丘南 5-606		790.00		名張中学校第2グラウンドとして使用
4		梅が丘南 5-205		431.10		名張中学校第2グラウンドとして使用

令和3年度名張市学校教育目標

位置づけ

名張市教育振興基本計画 名張市子ども教育ビジョン

〈名張市のめざす子ども像〉

夢をはぐくみ 心豊かで 元気な「ばりっ子」

基本理念： 未来を担う子どもの夢の実現のため、学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一丸となって子どもの教育に向き合います。

計画の位置付け： 名張市総合計画「新・理想郷プラン」に示す教育分野の施策を具体化する行動計画

計画の期間： 「基本目標」は、平成28年度～令和7年度の10年間
「主な取組」は、令和3年度～令和7年度の5年間

名張市学校教育目標

目標の位置づけ： 名張市立学校全体の基軸となる教育目標とする。

目標の期間： めざす姿は、子ども教育ビジョンと整合させ、重点事項は年度ごとに見直ししながら進める。

各学校教育目標

目標の位置づけ： 各学校は、名張市学校教育目標をふまえ、幼児、児童生徒、保護者、地域等の実態に即した教育目標を定め、その実現に向けて取り組む。

めざす姿

子ども

夢をはぐくみ

- ・夢をもち、目標に向かって努力し続ける子ども
- ・思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども
- ・自ら学び、考え、主体的に判断し、行動する子ども
- ・自ら課題を見付け、解決していこうとする子ども

心豊かで

- ・人との関わりを楽しむ子ども
- ・自らをコントロールし、他人とともに協調する子ども
- ・他人を思いやる心や感動する心を持つ子ども
- ・名張を愛し、名張を誇れる子ども
- ・社会の未来を考え、行動する子ども

元気な「ばりっ子」

- ・基本的な生活習慣を身に付けた子ども
- ・体を動かすことを好み、楽しむ子ども
- ・困難を乗り越え、明るく前向きに生活する子ども

教職員

- 信頼・尊敬される教職員
- 研究と修養に努める教職員
- 魅力ある人間力・教師力をもった教職員
- 支え合い高め合える教職員
～「チームとしての学校」の視点から対応できる教職員～

学校

縦の接続を重視した学校
～就学前から小中をつなぐ一貫した教育～

横の連携を大切にした学校
～学校・家庭・地域・関係機関等との連携、小・小連携～

特色・魅力ある学校

社会に開かれた教育課程

基本目標と主な取組

基本目標1 確かな学力の育成

- ・学力の向上 ・特別支援教育の推進 ・キャリア教育の充実
- ・GIGAスクール構想の実現による学習活動の充実 ・就学前教育の充実
- ・グローバル人材の育成

基本目標2 豊かな人間性の醸成

- ・人権・同和教育、道徳教育の推進 ・ふるさと学習「なばり学」の推進
- ・持続可能な社会の創り手となるための教育の推進
- ・読書活動・文化芸術活動の推進

基本目標3 健やかな体の育成

- ・健康教育の推進 ・体力向上に向けた取組の推進 ・食育の推進

基本目標4 活力ある学校づくり

- ・教職員が働きやすい環境づくり ・学校の組織力の向上
- ・教職員の指導力の向上

基本目標5 安全で安心な教育環境の整備

- ・子どもの安全・安心の確保
- ・いじめや問題行動を未然に防ぐ学校づくり
- ・居心地の良い集団づくり

基本目標6 家庭・地域との協働の推進

- ・家庭の教育力の向上 ・地域の教育力の向上

本年度の重点事項

- カリキュラム・マネジメントの確立
- ESDの推進

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の質的改善
- 学習評価の工夫・改善
- 中学校新学習指導要領の本格実施

縦の接続、横の連携を重視した学校づくり！
～信頼と絆～

- 幼稚園・保育所（園）・小学校・中学校での一貫した取組
- 就学前から小中をつなぐ一貫した教育
 - ・「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」の実践
 - コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進
 - ・小中学校の教職員による「子どもの実態」の共有
 - ・中学校区の「めざす子ども像」実現に向けた取組
 - ・グランドデザインに基づく系統性・連続性のある指導
 - ・各教科キャリア教育カリキュラムの検討、作成
 - 学校、地域・保護者との連携
 - 地域とともにある学校づくり
 - ・学校運営への参画、学校支援の充実、地域貢献の場づくり
 - 教育センターの活用
 - ・教育相談の充実、学校支援体制の充実、家庭への支援

生きる力の着実な定着！
～わかる授業、楽しい学校～

- 必要とされる資質・能力の育成に向けた授業改善
- 魅力ある学校づくり（心の居場所・絆づくり）
 - ・豊かな人間関係構築への取組
 - ・いじめ、不登校の未然防止
 - ユニバーサルデザインの視点
 - ・すべての子どもに分かりやすい指導
 - ・個に応じた指導や支援
 - 主体的・対話的で深い学びの視点
 - ・受信、思考、発信
 - 学力向上3本の矢
 - ・めあてと振り返り、言語活動、家庭学習
 - 学習評価の工夫・改善
 - ・指導と評価の一体化
 - PDCAサイクルによる検証と改善
 - ・学校体制での系統的、継続的な取組
 - ・教職員の意欲的、主体的な取組
 - ICT機器の活用
 - ・タブレット端末等を効果的に活用した授業づくり
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて

教職員が互いに高め合える教職員集団づくり！
～学校力・教師力の向上～

- 効率的・効果的な研修
- 指導力を高める校内研修体制の確立
 - 教育センターを拠点にした教職員研修等の充実と積極的な参加
 - 教職員がやりがいを感じる環境の整備
 - 本音で語り合い、互いに支え合い高め合える学校体制
 - 働き方改革
 - ・勤務時間の縮減
 - ・教職員が働きやすい環境づくり

<基本目標に関する本年度の関連事業>

確かな学力の向上

- 【小中一貫教育推進事業】
- 【基礎学力向上支援事業】
- 【ICTを活用したわかる授業推進事業】
- 【特別支援教育体制推進事業】
- 【小学校ALT派遣事業】
- 【中学校ALT派遣事業】
- 【学校における外国人児童生徒サポート事業】
- 【ばりっ子ピカピカ小1学級プロジェクト】【小中学校コンピューター管理費】

豊かな人間性の醸成

- 【ふるさとなばり推進プロジェクト事業】
- 【総合的な学習推進事業】

健やかな体の育成

- 【体力テストの実施と体力向上】
- 【食育推進事業】

活力ある学校づくり

- 【教育研究事業】
- 国・県【部活動指導員配置促進事業】

安全で安心な教育環境の整備

- 【生徒指導充実推進事業】
- 【いじめ防止対策事業】
- 国・県【スクールカウンセラー活用事業】

家庭・地域との協働の推進

- 【中学生地域ふれあい事業】
- 【土曜授業】
- 【地域と学校の連携・協働体制構築事業】

めざす姿

子ども

夢をはぐくみ

- ・夢をもち、目標に向かって努力し続ける子ども
- ・思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども
- ・自ら学び、考え、主体的に判断し、行動する子ども
- ・自ら課題を見付け、解決していこうとする子ども

心豊かで

- ・人との関わりを楽しむ子ども
- ・自らをコントロールし、他人とともに協調する子ども
- ・他人を思いやる心や感動する心を持つ子ども
- ・名張を愛し、名張を誇れる子ども
- ・社会の未来を考え、行動する子ども

元気な「ばりっ子」

- ・基本的生活習慣を身に付けた子ども
- ・体を動かすことを好み、楽しむ子ども
- ・困難を乗り越え、明るく前向きに生活する子ども

教職員

- 信頼・尊敬される教職員
- 研究と修養に努める教職員
- 魅力ある人間力・教師力をもった教職員
- 支え合い高め合える教職員

縦の連続を重視した幼稚園
～就学前から小中をつなぐ一貫した教育～

横の連携を大切にした幼稚園
～園・家庭・地域・関係機関等との連携～

特色・魅力ある幼稚園

開かれた幼稚園

基本項目

(健康)

- ・生活に必要な活動を自分でする子の育成
- ・食育を通じ、食べることを楽しむ子どもの育成
- ・自ら体を十分に動かそうとする子どもの育成

(人間関係)

- ・身近な人と親しみ、かかわりを深める子どもの育成
- ・社会生活における望ましい習慣を身につけた子どもの育成
- ・友だちとのかかわりを深め思いやりのある子どもの育成

(環境)

- ・身近な環境に親しみ、様々な事象に興味や関心をもつ子どもの育成

(言葉)

- ・自分の言葉で表現しようとする子どもの育成
- ・相手の話す言葉を聞こうとする子どもの育成

(表現)

- ・豊かな感性を持ち、自分なりに表現できる子どもの育成

本年度の重点事項

縦の連続、横の連携を重視した幼稚園づくり！

- 幼稚園・保育所(園)・小学校・中学校での一貫した取組
- 就学前から小中をつなぐ一貫した教育
 - ・「幼児教育アドバイザー」の活用
 - ・「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」の実践
 - 【ばりっ子ピカピカ小1学級プロジェクト】
 - 幼稚園、保護者・地域との連携
 - 教育センターを活用した教育相談の充実と幼稚園支援体制の構築及び家庭への支援

生きる力を育む基礎づくり！

主体的な活動の促進と幼児期にふさわしい生活の展開

自発的な遊びを通しての指導

- 健やかな身体づくり
- 社会性・道徳性の育成

幼児一人ひとりの発達段階に応じた環境・支援の充実

- 自然や人との多様な体験を通じた豊かな感性と表現力の育成

- 子ども同士の関係を育む環境づくり
- 異年齢交流の推進と身体づくり
- PDCAサイクルによる取組の検証と改善

教職員が互いに高め合える環境の整備！

効率的・効果的な研修

- 資質を高める園内研修体制の確立
- 教育センターを拠点にした教職員研修等の充実
- 教職員がやりがいを感じる環境の整備
- 本音で語り合い、互いに支え合い高め合える幼稚園体制
- 働き方改革
 - ・勤務時間の縮減
 - ・教職員が働きやすい環境づくり

関連する「名張市子ども教育ビジョン」(一部抜粋)

めざす姿

保育所(園)、認定こども園、幼稚園、小中学校等の連携が強化され、一人ひとりの子どもの学力に係る課題を共有し、その解決に向けた指導方法の工夫と改善が図られています。

【基本目標1】

途切れない支援

障がいのある子どもが、持てる力を発揮できるよう、個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、保育所(園)、認定こども園、幼稚園、小中学校を通じた途切れない支援を行います。

【基本目標1 (2) 特別支援教育の推進】

幼稚園、小中学校の連携の強化

小1プロブレム等就学時の課題を解決し、小学校教育へ円滑な接続が行われるよう、市独自に作成した接続期(幼児期年長から小学校1年まで)のカリキュラム「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」の実践を推進します。

また、元小学校教員が市内保育所(園)・幼稚園・認定こども園の5歳児クラスを巡回指導する「ばりっ子ピカピカ小1学級プロジェクト」の充実を図ります。

【基本目標1 (5) 就学前教育の充実】

幼稚園教職員の資質・能力の向上

関係機関と連携し、保育士や保育教諭、幼稚園教職員の資質向上を図るため、幼児教育に関する会議・研修内容の充実を図ります。

【基本目標1 (5) 就学前教育の充実】

2. 学校・幼稚園研究主題一覧

学校・幼稚園名	研究主題
名張小学校	主体的・対話的に学ぶ子の育成 ～学力向上を目指す指導方法の工夫・改善を通して～
蔵持小学校	「主体的・対話的で深い学び」による、言語能力の育成 ～ESDの視点を取り入れた、教科横断的な学習を通して～
薦原小学校	どの子もわかる・できるをめざした授業づくり ～基礎基本を身につけた子どもを育てるために～
比奈知小学校	教育的に不利な環境のもとにある児童をはじめとする すべての児童の学力保障 ～なかまづくりを基盤にした授業づくりを通して～
美旗小学校	思考力・表現力の育成と 主体的な学びをめざして ～対話から生まれる気づきのある授業づくり～
箕曲小学校	主体的に学習に取り組む子どもの育成 ～学ぶ楽しさを実感できる算数科の授業をめざして～
錦生赤目小学校	意欲をもって主体的に学び続ける子どもの育成 ～自分の考えをわかりやすく伝える力をつける算数科の授業の創造～
桔梗が丘小学校	主体的に学び、豊かに表現できる児童の育成 ～学力向上のための ICT 機器の活用研究～
桔梗が丘南小学校	自己を見つめ、考えを深め、ともによりよく生きる子どもの育成 ～道徳科の「主体的・対話的で深い学び」となる授業づくり～
桔梗が丘東小学校	仲間とともに主体的に学ぶ学級集団の育成 ～子どもの「困り感」や「願い」に寄り添ったわかる授業づくり～

学校・幼稚園名	研究主題
つつじが丘小学校	わかる授業をめざす、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり
すずらん台小学校	なりたい自分の実現に向け、自他のよさに気づき、なかまと協同し合う子どもの育成 ～学習意欲を高めるキャリア教育をめざして～
梅が丘小学校	自分の考えを、自分の言葉で表現できる子どもの育成をめざして ～なかまと共に学び合い、「わかった」「できた」を実感できる授業を創造する～
百合が丘小学校	自ら進んで、学び合う子どもの育成 ～算数科の授業を通して～
名張中学校	「自分と異なる考えを尊重し、新たな自分を見出すことに“ゆしみ”を感じることができる生徒」の育成 ～“深める学び”のある道徳科の授業を通して～
赤目中学校	「確かな学力を身につけた生徒の育成をめざして」 ～指導と評価の一体化～ ～新学習指導要領において求められる力と3つの観点～
桔梗が丘中学校	豊かな心で、主体的に生きる生徒の育成 ～確かな学力向上を目指して～
北中学校	学びをつなげ、自らを拓く力の育成を目指して ～「つながり」をつくる「しかけ」を意識した実践の研究～
南中学校	「主体的に学び、行動する生徒の育成」 ～自己選択のある場面づくりから～
名張幼稚園	遊びの中の「学び」を探る ～主体的に遊ぶ姿をとおして～
桔梗南幼稚園	「夢中で遊ぶ子どもを育てるために」 ～遊びの中の“学び”を育てる教師の援助を探る～

3. 小学校・中学校・幼稚園一覧

(1) 所在地等一覧

(令和3年5月1日現在)

学校名		所在地	電話	校長・園長名	児童・生徒数	学級数
小学校	名張	丸之内55	63-0041	布本肇	440	13 (6)
	蔵持	蔵持町原出338	63-0068	本多恵美子	185	6 (4)
	薦原	薦生1595	63-2800	林辰久	97	6 (3)
	比奈知	下比奈知1422	68-1104	豊田憲幸	268	11 (3)
	美旗	新田117-2	65-3009	藤原武	349	12 (5)
	箕曲	夏見351	63-1802	前田かおり	81	6 (1)
	錦生赤目	赤目町檀116	63-1803	谷口雅彦	158	6 (2)
	桔梗が丘	桔梗が丘3-2-67	65-2189	廣岡茂斉	491	17 (4)
	桔梗が丘南	桔梗が丘5-12-38	65-0339	根本健	211	9 (3)
	桔梗が丘東	桔梗が丘7-1-86	65-4800	西澤祐子	186	6 (3)
	つつじが丘	つつじが丘北3-5	68-3485	上谷典秀	616	19 (5)
	すずらん台	すずらん台東3-219	68-0555	宮崎慎治	147	6 (3)
	梅が丘	梅が丘北1-340	63-2160	赤塚弘憲	308	12 (3)
	百合が丘	百合が丘東9-1	64-6211	松田和隆	429	14 (5)
	合計	14校			3,966	143 (50)
中学校	名張	丸之内15	63-0247	中森早苗	440	14 (6)
	赤目	箕曲中村219	63-0707	篠木素道	358	10 (3)
	桔梗が丘	桔梗が丘7-1-1926-1	65-1726	西山尚吾	430	13 (3)
	北	美旗中村2380	65-1244	山崎博史	395	12 (3)
	南	つつじが丘南1-241	68-0022	山田貴志	307	9 (2)
	合計	5校			1,930	58 (17)
幼稚園	名張	丸之内55-5	63-3280	北川由香	28	2
	桔梗南	桔梗が丘5-11-23-1	65-4469	松嶋順子	20	2
	合計	2園			48	4

() 内は特別支援学級数で外数

(2) 職員数等一覧

(令和3年5月1日現在)

学校名	校長・教員	再任用短時間教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭	栄養職員	用務員	給食調理員	嘱託			
									校医	歯科医	薬剤師	
小学校	名張	25	3	1	1	1		1		1	1	1
	蔵持	13	1	1	1			1	3	1	1	1
	薦原	12		1	1			1	3	1	1	1
	比奈知	18	3	1	1			1	4	1	1	1
	美旗	22	2	1	1	1		1		1	1	1
	箕曲	10	1	1	1			1	2	1	1	1
	錦生赤目	14		1	1			1	4	1	1	1
	桔梗が丘	27	1	1	1		1	1		2	2	1
	桔梗が丘南	16		1	2			1	3	1	1	1
	桔梗が丘東	12	1	1	1			1	3	1	1	1
	つつじが丘	30	4	1	1	1		1		2	2	1
	すずらん台	12	1	1	1			1	3	1	1	1
	梅が丘	19	2	1	1		1	1		1	1	1
	百合が丘	24	3	1	1		1	1		1	1	1
	合計	254	22	14	15	3	3	14	25	16	16	14
中学校	名張	35	1	1	1			1		2	2	1
	赤目	23		1	1			1		1	1	1
	桔梗が丘	26	2	1	1			1		2	2	1
	北	26	3	1	1			1		1	1	1
	南	20		1	1			1		1	1	1
	合計	130	6	5	5	0	0	5	0	7	7	5
幼稚園	名張	4								1	1	1
	桔梗南	4								1	1	1
	合計	8	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2

※再任用（フルタイム）は、校長・教員に含む。
 ※養護教諭には養護助教諭、事務職員には事務補助員を含む。
 ※上記嘱託のうち、歯科医は5名、薬剤師は8名が兼務で対応。

4. 小・中学校通学区域一覧

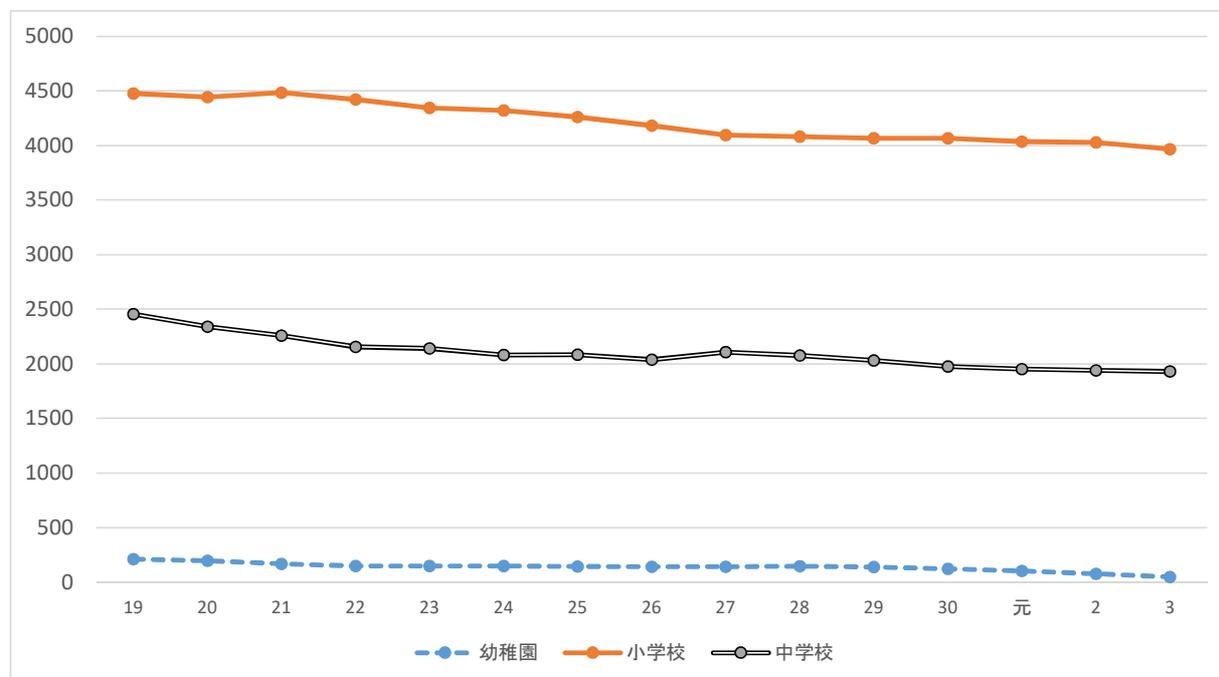
(小学校区一覧表)

指定小学校	学 区
名張小学校	桜ヶ丘、平尾、丸之内、中町、上本町、柳原町、鍛冶町、本町、新町、南町、豊後町、木屋町、元町、榑町、栄町、松崎町、朝日町、上八町、東町、希中央1番町、希中央2番町、希中央3番町、希中央4番町、希中央5番町、鴻之台1番町、鴻之台2番町、鴻之台3番町、鴻之台4番町、鴻之台5番町
蔵持小学校	蔵持町里、蔵持町原出(国道165号沿東側を除く区域)、蔵持町芝出、緑が丘東、緑が丘中、緑が丘西
薦原小学校	薦生、八幡、西田原、鶴山、家野、葛尾、さつき台1番町、さつき台2番町
美旗小学校	新田、美旗中村(池之谷、寺之前、東徳明、大谷、比円丈を除く区域)、東田原、上小波田(狭間、志ん屋くの国道165号沿北側を除く区域)、下小波田(2021番地1、2021番地2を除く区域)、西原町、南古山、美旗町中1番、美旗町中2番、美旗町中3番、美旗町南西原、美旗町藤が丘
比奈知小学校	下比奈知、上比奈知、滝之原、富貴ヶ丘1番町、富貴ヶ丘2番町、富貴ヶ丘3番町、富貴ヶ丘4番町、富貴ヶ丘5番町、富貴ヶ丘6番町、上長瀬、長瀬(中並を除く区域)
錦生赤目小学校	黒田、結馬、井手、安部田、矢川、上三谷、竜口、赤目町丈六、赤目町相楽、赤目町新川、赤目町檀、赤目町星川、赤目町柏原、赤目町一ノ井、赤目町長坂、赤目町すみれが丘
箕曲小学校	夏見(横内を除く区域)、瀬古口、箕曲中村、中知山
桔梗が丘小学校	桔梗が丘1番町1街区、桔梗が丘1番町2街区、桔梗が丘1番町3街区、桔梗が丘1番町4街区、桔梗が丘1番町5街区、桔梗が丘1番町6街区、桔梗が丘2番町1街区、桔梗が丘2番町2街区、桔梗が丘2番町3街区、桔梗が丘2番町4街区、桔梗が丘2番町5街区、桔梗が丘2番町6街区、桔梗が丘2番町7街区、桔梗が丘3番町1街区、桔梗が丘3番町2街区、桔梗が丘3番町3街区、桔梗が丘3番町4街区、桔梗が丘西1番町、桔梗が丘西2番町1街区、桔梗が丘西2番町2街区、桔梗が丘西2番町3街区、桔梗が丘西3番町1街区、桔梗が丘西3番町2街区、桔梗が丘西3番町3街区、桔梗が丘西4番町1街区、桔梗が丘西4番町2街区、桔梗が丘西4番町3街区、桔梗が丘西5番町1街区、桔梗が丘西5番町2街区、桔梗が丘西5番町3街区、桔梗が丘西6番町1街区、桔梗が丘西6番町2街区、桔梗が丘西7番町
桔梗が丘南小学校	蔵持町原出のうち国道165号沿東側の区域、桔梗が丘5番町1街区、桔梗が丘5番町2街区、桔梗が丘5番町3街区、桔梗が丘5番町4街区、桔梗が丘5番町5街区、桔梗が丘5番町6街区、桔梗が丘5番町7街区、桔梗が丘5番町8街区、桔梗が丘5番町9街区、桔梗が丘5番町10街区、桔梗が丘5番町11街区、桔梗が丘5番町12街区、桔梗が丘南1番町1街区、桔梗が丘南1番町2街区、桔梗が丘南1番町3街区、桔梗が丘南2番町1街区、桔梗が丘南2番町2街区、桔梗が丘南3番町1街区、桔梗が丘南3番町2街区、桔梗が丘南3番町3街区、桔梗が丘南4番町1街区
桔梗が丘東小学校	美旗中村のうち池之谷、寺之前、東徳明、大谷、比円丈の区域、上小波田のうち狭間、志ん屋くの国道165号沿北側の区域、下小波田のうち2021番地1、2021番地2の区域、美旗町池の台東、美旗町池の台西、桔梗が丘4番町1街区、桔梗が丘4番町2街区、桔梗が丘4番町3街区、桔梗が丘4番町4街区、桔梗が丘4番町5街区、桔梗が丘4番町6街区、桔梗が丘4番町7街区、桔梗が丘6番町1街区、桔梗が丘6番町2街区、桔梗が丘6番町3街区、桔梗が丘7番町1街区、桔梗が丘7番町2街区、桔梗が丘7番町3街区、桔梗が丘8番町1街区、桔梗が丘8番町2街区、桔梗が丘8番町3街区、桔梗が丘8番町4街区、桔梗が丘8番町5街区
つつじが丘小学校	つつじが丘北1番町、つつじが丘北2番町、つつじが丘北3番町、つつじが丘北4番町、つつじが丘北5番町、つつじが丘北6番町、つつじが丘北7番町、つつじが丘北8番町、つつじが丘北9番町、つつじが丘北10番町、つつじが丘南1番町、つつじが丘南2番町、つつじが丘南3番町、つつじが丘南4番町、つつじが丘南5番町、つつじが丘南6番町、つつじが丘南7番町、つつじが丘南8番町、春日丘1番町、春日丘2番町、春日丘3番町、春日丘4番町、春日丘5番町、春日丘6番町、春日丘7番町、神屋、奈垣、布生、長瀬のうち中並の区域
すずらん台小学校	すずらん台東1番町、すずらん台東2番町、すずらん台東3番町、すずらん台東4番町、すずらん台東5番町、すずらん台西1番町、すずらん台西2番町、すずらん台西3番町、すずらん台西4番町

5. 幼稚園、小学校、中学校別の園児、児童、生徒数等の年度別推移

(1) 幼稚園、小学校、中学校別の園児、児童、生徒数の年度別推移

毎年5月1日現在



年度		平成	令和	令和	令和											
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
園児数 児童数 生徒数 (人)	幼稚園	211	196	167	149	150	149	144	142	141	146	139	123	104	78	48
	小学校	4,476	4,443	4,484	4,422	4,345	4,322	4,260	4,182	4,096	4,082	4,067	4,067	4,036	4,029	3,966
	中学校	2,456	2,341	2,258	2,156	2,142	2,082	2,083	2,038	2,107	2,076	2,031	1,975	1,952	1,941	1,930
H19 年度を 100 とした 推移	幼稚園	100.0	92.9	79.1	70.6	71.1	70.6	68.2	67.3	66.8	69.2	65.9	58.3	49.3	37.0	22.7
	小学校	100.0	99.3	100.2	98.8	97.1	96.6	95.2	93.4	91.5	91.2	90.9	90.9	90.2	90.0	88.6
	中学校	100.0	95.3	91.9	87.8	87.2	84.8	84.8	83.0	85.8	84.5	82.7	80.4	79.5	79.0	78.6

(2) 幼稚園、小学校、中学校別のクラス数（普通学級・特別支援学級・合計）の年度別推移

(令和3年5月1日現在)

年度	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	
幼稚園	9	8	8	7	8	8	8	7	7	8	7	7	5	4	4	
小学校	普通学級	170	167	169	168	174	170	167	157	152	152	151	150	147	143	143
	特別支援学級	29	32	33	33	34	34	35	34	34	38	41	42	47	50	50
	合計	199	199	202	201	208	204	202	191	186	190	192	192	194	193	193
中学校	普通学級	69	70	68	64	64	61	61	60	62	61	58	59	57	58	58
	特別支援学級	10	10	10	12	11	11	13	14	14	15	16	15	16	17	17
	合計	79	80	78	76	75	72	74	74	76	76	74	74	73	75	75

(3) 幼稚園、小学校、中学校別の1クラス当たりの園児、児童、生徒数の年度別推移

(令和3年5月1日現在)

年度	平成	令和	令和	令和											
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
幼稚園	26.4	24.4	23.8	18.6	18.8	18.6	20.6	20.2	17.6	18.3	19.9	17.9	20.8	19.5	12.0
小学校	25.9	26.1	25.9	25.6	24.2	24.6	24.7	26.6	26.0	25.7	25.6	27.1	27.5	28.2	26.0
中学校	35.2	33.0	32.7	33.1	32.8	33.5	33.4	33.9	32.9	32.9	33.8	33.5	34.2	33.5	31.6

※小中学校は普通学級児童生徒数÷普通学級数で計算しています。

(4) 教員1人当たりの園児、児童、生徒数の年度別推移

(令和3年5月1日現在)

年度	平成	令和	令和	令和											
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
幼稚園	10.9	9.3	9.3	8.8	8.3	8.3	10.3	10.9	10.1	9.7	10.7	9.5	9.5	8.7	6.0
小学校	16.4	16.4	15.7	15.7	15.5	15.9	15.6	16.5	16.3	16.0	15.9	16.0	16.0	15.9	15.6
中学校	15.5	15.2	14.3	15.1	16.0	15.3	15.1	14.8	15.1	14.5	14.3	14.8	14.8	15.0	14.8

※この表における教員とは、校長、教頭、教諭、常勤講師を指します。

6. 中学校卒業生進路状況

(令和3年4月現在の中学校卒業生進路状況調査による)

年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)								
市内県立高等学校	316	49.1	352	50.1	314	45.6	323	44.9	326	48.4	269	41.9	296	44.9
伊賀地区内県立高等学校 (名張市を除く)	122	19.0	133	18.9	147	21.3	142	19.7	116	17.2	146	22.7	128	19.4
県内県立高等学校 (伊賀地域を除く)	92	14.3	93	13.2	96	13.9	109	15.1	101	15.0	92	14.3	85	12.9
県外県立高等学校	5	0.8	4	0.6	3	0.4	12	1.7	8	1.2	6	0.9	14	2.1
県内私立高等学校	21	3.3	33	4.7	32	4.6	37	5.1	36	5.3	49	7.6	26	3.9
県外私立高等学校	36	5.6	41	5.8	43	6.2	56	7.8	44	6.5	45	7.0	71	10.8
国立高等専門学校	7	1.1	6	0.9	8	1.2	5	0.7	5	0.7	5	0.8	3	0.5
私立高等専門学校	32	5.0	30	4.3	30	4.4	18	2.5	32	4.7	21	3.3	23	3.5
特別支援学校	8	1.2	4	0.6	3	0.4	8	1.1	3	0.4	3	0.5	8	1.2
その他	4	0.6	6	0.9	13	1.9	10	1.4	3	0.4	6	0.9	5	0.8
合計	643	100.0	702	100.0	689	100.0	720	100.0	674	100.0	642	100.0	659	100.0

※その他については、高等専修学校、就職などです。

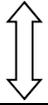
※県立定時制通信制高等学校については、県立高等学校に、私立通信制は私立高等学校に含んでいます。

7. 小中学校特別支援学級の状況

(令和3年5月1日現在)

学 校	学級数	学年児童生徒数						合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
小学校(14校)合計	50学級	25	41	49	44	41	46	246
中学校(5校)合計	17学級	36	39	23				98

8. 特別支援教育の流れとコーディネーターの活動内容

特別支援教育の流れ	コーディネーターの役割
(1) 担任の気づき  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">コーディネーター</div> <第1次支援>	① 情報収集 ・ 対象児童生徒の観察 ・ データの集約 ② 担任への助言
(2) 校内委員会への児童生徒の状況報告 及び対象児の実態把握 <アセスメントシートの活用> <個別の指導計画「学校の様子」欄の記入>	③ 校内委員会の招集・運営 ④-1 個別の指導計画の作成と管理 (アセスメントシートの管理) ⑤-1 保護者との連携 (担任との調整・カウンセリング)
(3) 個別の指導計画の目標の設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 校内支援体制の方向付けの確認 ② 校内支援の継続 ③ 外部支援の活用 </div>	④-2 個別の指導計画の作成と管理 (個別の指導計画の作成への助言、管理) ⑤-2 保護者との連携 (個別の指導計画の説明と合意) ⑥ 外部機関との連携 (チーフコーディネーターへの連絡)
チーフコーディネーターへの連絡<第2次支援> ① チーフコーディネーターによる事案の整理 ② チーフコーディネーターによるコンサルテーション	
(4) 実践（ケース会議）と評価 有効な手だての構築	⑦ ケース会議の運営 ③ -3 個別の指導計画の作成と管理 (個別の指導計画の評価と改善)
外部機関（子ども発達支援センター・伊賀つばさ学園・子ども心身発達医療センター等）の介入<第3次支援>	
(5) 改善と次年度に向けて 個別の教育支援計画への記入 引き継ぎ事項の確認	④ -4 個別の指導計画の作成と管理 (個別の指導計画のまとめと総括) ⑤ -3 保護者との連携 (評価に係る説明と合意・引き継ぎの合意)
(6) 次年度への引き継ぎ	⑧ 保・幼と小、小と中の情報交換

特別支援教育コーディネーター配置校の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
配置校数	19校	19校	19校	19校	19校

9. 通級指導教室活用状況

令和3年5月1日現在

種 別	活 用 者 数									
	小学校						中学校			合 計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
言 語	1	5	3	5	3	1				18
発達障がい	0	11	6	3	8	6	1	6	3	44
合 計	1	16	9	8	11	7	1	6	3	62

言語通級指導教室	
趣 旨	吃音、構音障がい等言葉に関して特別な支援の必要がある児童に対して、週8時間を上限に拠点校で指導する。
拠点校	桔梗が丘南小学校

発達障がい通級指導教室	
趣 旨	様々な環境の中で、もっている力を発揮できず、特別な支援の必要がある児童に対して、週8時間を上限に拠点校で実施する。
拠点校	名張小学校・百合が丘小学校・つつじが丘小学校・梅が丘小学校・美旗小学校 名張中学校・北中学校

<通級決定までの流れ>

<p>保護者からの通級希望に対し、学校から市教育委員会に通級指導実施の検討依頼がなされ、教育支援委員会（言語）または、通級指導審議委員会（発達障がい）で検討した上、通級を決定している。</p>
--

10. ALT（外国語指導助手）の活動内容・配置状況

（1）小学校ALT

<活動内容>

- ・小学校における日本人教師の外国語授業の補助
- ・小学校における外国語活動及び国際理解教育
- ・外国語教材作成の補助
- ・日本人外国語担当教員等に対する語学に対する現職研修の補助
- ・外国語担当指導主事や外国語担当教員等に対する語学に関する情報の提供

<配置状況>

年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
配置状況	3名	3名	3名	3名						

（2）中学校ALT

<活動内容>

- ・小・中学校における日本人教師の外国語授業の補助
- ・幼・保・小・中学校における国際理解教育
- ・外国語教材作成の補助
- ・日本人外国語担当教員等に対する語学に対する現職研修の補助
- ・外国語担当指導主事や外国語担当教員等に対する語学に関する情報の提供
- ・外国語関連クラブ活動等への協力
- ・外国語スピーチコンテストへの協力

<配置状況>

年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3
配置状況	2名	2名	2名	2名						

1 1. 不登校児童生徒の状況

<不登校とは>

文部科学省の定義では、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により（病気や経済的理由によるものなどを除く）、児童生徒が長期（年間欠席日数 30 日以上）に登校しないあるいはしたくともできない状況にあることをいう。

<最近の不登校児童生徒の出現率（全国・三重県・名張市）>

	全 国（％）		三 重 県（％）		名 張 市（％）	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
平成 1 9 年度	0.34	2.91	0.34	3.01	0.47	3.99
平成 2 0 年度	0.32	2.89	0.35	3.00	0.47	3.18
平成 2 1 年度	0.32	2.89	0.35	3.00	0.42	2.35
平成 2 2 年度	0.32	2.74	0.33	2.91	0.27	2.37
平成 2 3 年度	0.33	2.64	0.34	2.83	0.58	1.63
平成 2 4 年度	0.32	2.58	0.39	2.66	0.53	2.11
平成 2 5 年度	0.36	2.69	0.49	2.63	0.75	1.82
平成 2 6 年度	0.39	2.76	0.47	2.89	0.60	2.55
平成 2 7 年度	0.42	2.83	0.46	2.97	0.44	2.56
平成 2 8 年度	0.48	3.01	0.57	2.99	0.34	1.83
平成 2 9 年度	0.54	3.24	0.60	3.25	0.47	1.97
平成 3 0 年度	0.70	3.65	0.71	3.48	0.54	1.82
令和 元 年度	0.83	3.94	0.75	3.55	0.49	2.16
令和 2 年度	※	※	※	※	0.62	2.63

※令和 2 年度全国・三重県の出現率については、令和 3 年秋以降に公表

12. スクールカウンセラーの活動内容・配置状況

<活動内容>

スクールカウンセラーは、児童生徒及び保護者に対してカウンセリングを行うとともに、校内におけるカウンセリングの実践に関する研修等において、教職員を指導・助言・援助する。

<配置状況>

市内の5つの中学校区に1名ずつ配置している。令和3年度は、市内全小中学校に配置している。

また、中学校を拠点校として、それぞれ中学校区内の小学校を対象校として同一のカウンセラーを配置し小中連携を図る。

- 〈配置校〉・名張中学校、名張小学校、比奈知小学校、梅が丘小学校
- ・赤目中学校、錦生赤目小学校、百合が丘小学校、箕曲小学校
 - ・桔梗が丘中学校、蔵持小学校、桔梗が丘小学校、桔梗が丘南小学校
桔梗が丘東小学校
 - ・北中学校、薦原小学校、美旗小学校、すずらん台小学校
 - ・南中学校、つつじが丘小学校

13. 教育相談会（スーパーバイズ）の実施内容

普通学級に在籍する児童生徒を中心に、障がいがあることによって特別な支援が必要な児童生徒に対する支援・指導について悩みを抱えている教職員が、専門家による助言を受ける。

<スーパーバイズの実施回数>

年度	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
実施回数	7回	6回	6回	6回	6回	7回	8回

14. 学校生活支援ボランティアの登録状況

平成30年度

平成30年4月1日現在

学 校 名	登録者数	ボランティア区分（複数選択）										新規と更新	
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	更 新	新 規	
小学校	587	176	88	133	38	8	145	5	8	42	496	91	
中学校	135	36	49	3	30	1	10	1	0	13	86	49	
教育センター	4	0	1	0	1	0	0	1	0	1	2	2	
合 計	726	212	138	136	69	9	155	7	8	56	584	142	

令和元年度

平成31年4月1日現在

学 校 名	登録者数	ボランティア区分（複数選択）										新規と更新	
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	更 新	新 規	
小学校	666	197	113	150	33	18	155	37	13	57	545	121	
中学校	139	69	90	3	26	11	5	3	1	2	117	22	
教育センター	5	0	1	1	1	0	1	1	0	1	4	1	
合 計	810	266	204	154	60	29	161	41	14	60	666	144	

令和2年度

令和2年4月1日現在

学 校 名	登録者数	ボランティア区分（複数選択）										新規と更新	
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	更 新	新 規	
小学校	723	212	138	170	36	13	169	37	29	70	621	102	
中学校	128	37	49	4	30	0	6	1	0	12	122	6	
教育センター	50	0	1	1	1	0	46	1	0	1	49	1	
合 計	901	249	188	175	67	13	221	39	29	83	792	109	

令和3年度

令和3年4月1日現在

学 校 名	登録者数	ボランティア区分（複数選択）										新規と更新	
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	更 新	新 規	
小学校	796	252	175	181	33	8	203	38	27	77	682	114	
中学校	143	40	48	12	33	0	8	0	0	7	113	30	
教育センター	121	0	116	1	1	0	2	1	0	1	5	116	
合 計	1,060	292	339	194	67	8	213	39	27	85	800	260	

[区分の内容]

A:登下校時及び校内外活動の安全の支援

B:校舎の補修、除草、美化等の環境整備の支援

C:学校図書館活動の支援(図書の整理、読み聞かせなど)

D:クラブ活動の支援

E:児童への生活支援(車椅子の介助・学習支援など)

F:教科学習・活動の支援(専門技能、英会話、調理・服飾関係の実習、楽器演奏など)

G:教科外活動の支援(体験談、伝統芸能・文化など)

H:動植物の世話の支援

I:児童とのふれあい(囲碁、将棋、昔話、体験談、さまざまな相談など)

15. 日本スポーツ振興センター「災害共済給付制度」適用の事故災害発生件数・医療費給付額の年度別推移

校種	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	件数	給付額(円)	件数	給付額(円)	件数	給付額(円)	件数	給付額(円)	件数	給付額(円)
小学校	304	2,509,608	287	2,664,270	254	1,946,897	232	1,900,047	240	2,117,463
中学校	311	4,440,349	314	4,085,102	307	2,469,645	298	3,252,948	271	2,824,476
計	615	6,949,957	601	6,749,372	561	4,416,542	530	5,152,995	511	4,941,939

16. 遠距離通学費補助の内容（基準）と交付状況

（目的）名張市立学校へ遠距離通学する児童生徒の保護者に対し、通学費の一部を補助することで保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、対象児童を安全に通学させることにより、義務教育の円滑な運営を行います。

（補助内容）名張市立学校へ遠距離通学（通学距離が片道概ね4キロメートル以上が基本）する児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、公共交通機関（バス）、自動車及び自転車による通学費の一部を補助します。

○交通機関利用者

最も合理的かつ経済的な経路における年間定期料金から、1区間分の年間定期料金に12分の11を乗じて得た額を差し引いた額。ただし、学校統廃合に伴う遠距離通学補助については、年間通学定期料金から保護者負担分（1区間分の年間通学定期料金の1/2）を差し引いた額を補助金として支給。

○自転車通学者（中学校）

通学のために使用する自転車を新規購入する場合の購入費用相当額。
就学期間を通じて1台限りとし、17,000円を限度とする。

○自動車による送迎

次に掲げる区分に応じて、それぞれ次に掲げる額の11か月分。

ア 片道5キロメートル未満	月額 2,000円
イ 片道5キロメートル以上10キロメートル未満	月額 4,100円
ウ 片道10キロメートル以上15キロメートル未満	月額 6,500円
エ 片道15キロメートル以上	月額 8,900円

校種	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	対象者	給付額	対象者	給付額	対象者	給付額	対象者	給付額	対象者	給付額
	(人)	(千円)	(人)	(千円)	(人)	(千円)	(人)	(千円)	(人)	(千円)
小学校	155	1,442	160	1,445	169	1,533	184	1,711	189	1,789
中学校	409	9,567	402	9,312	411	9,153	364	8,060	377	8,273
計	564	11,009	564	10,757	580	10,686	548	9,771	566	10,062

17. 就学援助の内容（基準）と援助状況

（対象）次のいずれかに該当する世帯

1. 児童扶養手当を受給している世帯
2. 前年度または当年度に市民税が非課税である世帯
3. 前年の所得税が非課税である世帯
4. 前年度または当年度に生活保護が停止又は廃止になった世帯
5. 前年度または当年度に市民税、固定資産税、個人事業税、国民年金保険料又は国民健康保険税が減免又は免除されている世帯

6. 生活福祉資金の貸与を受けている世帯
7. 失業対策事業適格者手帳を有する又は公共職業安定所に登録した日雇い労働者の世帯
8. 前年の世帯の所得が、生活保護基準の1.2倍以内である世帯
9. その他経済的に児童生徒の就学に支障のある世帯

(援助内容) 就学援助費の種類は、次に掲げるものとする。ただし、生活保護法により援助が行われているものに対しては修学旅行費のみ支給。就学援助費の額は、文部科学省が定める国の補助限度額を基準として教育委員会が定めています。

【小学生】学用品通学用品費：第一学年11,630円、その他の学年13,900円。給食費：実費。
新入学児童生徒学用品費：51,060円。

(平成29年度から新入学児童生徒学用品費の入学前支給も行っています。)

【中学生】学用品通学用品費：第一学年22,730円、その他の学年25,000円。新入学児童生徒学用品費：60,000円

(平成29年度から新入学児童生徒学用品費の入学前支給も行っています。)

【共通】通学費：名張市遠距離通学等児童生徒通学費補助金の交付対象で、公共交通機関を利用する場合に実費を支給。修学旅行費：実費。宿泊有校外活動費：交通費、見学科のみ支給。医療費：自己負担分。

校種	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	対象者	給付額	対象者	給付額	対象者	給付額	対象者	給付額	対象者	給付額
	(人)	(千円)	(人)	(千円)	(人)	(千円)	(人)	(千円)	(人)	(千円)
小学校	444	27,686	445	31,638	456	29,001	415	27,464	427	26,802
中学校	309	17,914	269	19,509	232	15,057	265	17,891	280	12,920
計	753	45,600	714	51,147	688	44,058	680	45,355	707	39,722

※平成29年度以降の給付額には、新入学児童生徒学用品費の入学前支給額を含みます。
ただし、対象者数には小学校入学前の支給対象者を含みません。

18. 特別支援教育奨励費の内容（基準）と援助状況

(対象) 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者のうち、世帯の所得が生活保護基準の2.5倍以内の者。2.5倍以上の世帯については、通学費、交流及び共同学習交通費が支給対象となり、いずれも2分の1が支給額となる。

(援助内容) 奨励費の額は、文部科学省が定める国の補助限度額を基準として教育委員会が定めています。

【小学生】学用品費：5,820円。新入学児童学用品費：25,555円

【中学生】学用品費：11,370円。新入学児童学用品費：28,990円

【共通】通学費：小学生4km以上、中学生6km以上実費。学校給食費：実費の1/2。修学旅行費：実費の1/2。宿泊有校外活動費：交通費、見学科の1/2。通学費、交流及び共同学習交通費：実費。

校種	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	対象者	給付額	対象者	給付額	対象者	給付額	対象者	給付額	対象者	給付額
	(人)	(千円)	(人)	(千円)	(人)	(千円)	(人)	(千円)	(人)	(千円)
小学校	135	4,200	155	4,944	182	5,920	194	5,785	184	6,032
中学校	52	1,545	40	1,137	44	1,258	51	1,573	57	1,453
計	187	5,745	195	6,081	226	7,178	245	7,358	241	7,485

19. 名張市奨学金の経過

(令和3年3月31日現在)

年度	新規支給 人員		新規貸付 人員		支 給 額 (千円) (継続者含)	貸 付 額 (千円) (継続者含)
	高校	大学	高校	大学		
S. 41	2				60	
42	2				120	
43	2				180	
44	2	1			230	
45	2	1			280	
46	2	1			330	
47	2	1			380	
48	2	1			330	
49	2	1			380	
50	2	1			650	
51	2	1			650	
52	2	2			650	
53	2	2			720	
54	2	2			790	
55	2	2			860	
56	3	3			980	
57	3	3			1,050	
58	3	3			1,220	
59	1	3			1,140	
60	3	3			1,560	
61	0	3			1,440	
62	1	3			1,440	
63	2	2			1,280	
H. 元	1	2			1,240	
2	1	3			1,240	
3	2	3			1,340	
4	1	3			1,440	
5	3	3			1,560	
6	2	3			1,560	
7	1	3			1,560	
8	2	3			1,500	
9	1	3			1,540	
10	1	3			1,540	
11	1	3			1,080	
12	3	3			1,300	
13	0	3			1,240	
14	3	3			1,460	
15	1	3			1,440	
16	3	3			1,520	
17	3	3			1,480	
18	4	4			2,282	
19	4	4			2,662	
20	1	4			2,448	
21	4	4			2,496	
22	4	4			2,496	
23	10	10	2	5	3,936	1,950
24	10	10	4	4	4,368	3,300
25	10	10	3	2	3,960	3,840
26	10	6	9	1	4,225	5,100
27	10	10	1	2	4,280	4,560
28	10	10	1	0	4,920	2,340
29	10	10	4	2	4,860	2,160
30	10	10	1	3	4,920	2,580
R. 元	19	2	0	2	4,170	2,280
2	20	0	0	1	2,760	2,280
総計	211	187	25	22	千円	千円
	398		47		95,543	30,390

○名張市奨学金造成積立基金残高
(令和3年3月31日現在)
11,745,588円

○令和2年度末までの支給者・貸付者
支給 高校 211名 **貸付** 高校 25名
大学 187名 大学 22名
計 398名 計 47名

○令和2年度末までの支給・貸付総額
支給 95,543千円 **貸付** 30,390千円

<経過>

- ・昭和39年名張市奨学金造成積立て基金設置
- ・昭和41年高校生奨学金支給開始(3万円)
- ・昭和44年大学生奨学金支給開始(5万円)
- ・昭和55年支給額改正
(高校3万円→5万円・大学5万円→7万円)
- ・昭和52年支給人員改正
(大学1人→2人)
- ・昭和56年支給人員改正
(高校2人→3人・大学2人→3人)
- ・昭和60年支給額改正
(高校5万円→6万円・大学7万円→10万円)
- ・平成18年支給人員、支給額改正
(高校3人→4人・大学3人→4人)
(高校6万円→7万2千円・大学10万円→12万円)
- ・平成23年度対象学年改正および支給人員改正(新1年生のみ4名→全学年で10名へ)、一部支給額改正(高校・高専1~3年 7万2千円→6万円)、貸付制度開始
- ・平成26年度貸付奨学金の延滞金の額を税制見直しにあわせ見直し。また、支給奨学金所得基準算定方法を、生活扶助基準引き下げ前の基準で算定するよう改正。
- ・令和元年度より支給奨学金の定員・金額等の変更と、成績優秀の要件に代えて、他の奨学金との併給を認めない要件の追加。大学等については、支給期間を入学(高等専門学校4年生)の1年度限りに変更。
(高等学校等10名以内・年額6万円→定員なし・年額3万円)
(大学等10名以内→2名以内 ※金額変更なし(12万円))
- ・令和2年度より大学等の新規支給奨学金を廃止。
- ・令和3年度より高等学校等へ貸付人数変更(10名→5名)

◇令和2年度造成基金利息
4,239円

◇令和2年度奨学金支給額
2,760,000円

◇令和2年度奨学金貸付額
2,280,000円

◇令和2年度基金繰入金
2,760,000円

20. 名張市教育センター

(1) 運営方針

平成25年4月の開設以来、教育センターは、様々な教育課題や時代の要請に迅速かつ的確に対応できる中核機関としての役割を果たしてきました。

教育センターを拠点とした教育を重点として施策を推進してきた第二次名張市子ども教育ビジョンについては、本年度、後期計画の初年度を迎えます。本年度は中学校で新学習指導要領が全面実施となります。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、学習評価等について、教職員の研修を充実させます。また、GIGAスクール構想実現事業にて配備された児童・生徒への一人1台端末を活用し子どもの情報活用能力の育成を目指すとともに、コロナ禍でのリモート授業や個別最適化等、ICTを有効活用した教育の実現のため、教職員の研修を充実させます。子どもの体験や学びの場としての週末教育事業の充実をはじめ、家庭教育連続講座や豊かな子育て研修講座など保護者のニーズに応じた研修にも積極的に取り組んでまいります。

名張市においては市内全ての小・中学校がコミュニティ・スクールとなり、義務教育9年間を見通した小中一貫教育も本格的に始まりました。コミュニティ・スクールの推進については、引き続き取組への支援を行いながら、生涯学習ネットワークの構築とスクール・コミュニティの体制づくりのため、地域づくり組織や市民センター、企業や高等教育機関等とも連携した取組を実施します。さらに、多様化・複雑化する学校現場の課題の改善・克服に向けて、今後も教育と福祉・医療との連携（名張市地域福祉教育総合支援ネットワーク）を進めながら、教育センターのより一層の充実を図り、子どもが主役となる教育活動の充実を目指します。

(2) 令和3年度事業

①子どもの育ち・学びへの支援

○教育よろず相談

ア 電話相談、来室相談、臨床心理士による相談

- ・保護者、教職員、児童生徒からの教育相談に応じます。
- ・教職員のメンタルヘルス、生徒指導、学習指導、学級指導等の相談に対する支援を行います。
- ・臨床心理士及び子どもセンター内にある相談窓口である青少年悩み相談、不登校相談、発達相談担当との緊密な連携と迅速な対応を行います。

イ 教育専門員、教育専門相談員による学校訪問

- ・管理職との面談により、学校経営に関する支援を行います。
- ・学校現場が抱える多様な課題に、初期段階で適切に対応し、必要に応じて関係機関と連携を図ります。
- ・授業を参観し、学校の教育研究及び指導方法や児童生徒理解について指導助言・支援を行います。

○不登校相談

- ・児童生徒、保護者、教職員から不登校に関する相談を受けます。臨床心理士による相談の場を設けます。
- ・学校訪問をし、管理職や担任等と情報共有しながら支援方法について協議します。

○発達相談

- ・子どもの発達に関する保護者からの相談を初期相談として受けます。
- ・学校から三次支援として、発達に関する相談を受けます。
- ・学校訪問をし、当該児童生徒を観察し教職員や保護者に助言すると共に、必要に応じて、臨床心理士や名張市立病院等関係機関と連携を図ります。

○適応指導教室〔さくら教室〕

- ・通級する不登校児童生徒の学校生活への復帰や心理的発達及び自立を支援します。
- ・学校や関係機関と連携し、支援の方法について探ります。

○発達支援教室〔ばりっ子チャレンジ教室〕

- ・小学校低学年を中心とした発達支援教室（通級指導的な教室）を実施し、社会性や行動面で困り感のある子どもを対象に、よりよい学校生活を送るための手立てについて模索します。
- ・小学校高学年における野外活動を見据えて、特別な支援を必要とする3・4年生を対象にばりっ子わくわくキャンプを実施します。

○週末教育事業・出前支援

- ・『創造・探求・伝承』をキーワードに、「サイエンス」・「ものづくり」・「ICT」等の領域について、小学生を対象に体験や学びの場を提供します。
- ・学校を訪問し、困り感のある教員を支援するとともに、週末教育事業で得られた教材等を提供しながら教員の授業力の向上を図ります。

○学習支援事業・ボランティア支援事業

- ・生活困窮家庭の小学生（高学年）や中学生への学習支援を、各家庭を訪問して行います。

②教育に関する調査・研究

○教育課題に関する調査・研究

- ・プロジェクト研究（市独自の今日的な教育課題を的確に捉えた先駆的調査研究）を実施します。
令和3年度テーマ【学びの保障・充実のためのデジタル教科書・デジタル教材の有効活用について】
- ・不登校児童生徒に関わる調査・研究（適応指導教室を中心に）を行います。
- ・学校・園研究（めざす子ども像の実現に向けた研究実践）への支援を行います。
- ・グループ研究（教科・領域研究）を実施します。

○児童生徒支援事業等

- ・名張市小中学校音楽会・名張市立学校・園美術展覧会（本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止します。）
- ・もみじのつどい・体力向上のための取組・読書活動推進のための取組を行います。

③教職員への支援

- 教職員の資質向上のための研修を行います。 【令和3年度研修講座等実施予定一覧参照】

④学校と地域の連携への支援

○学校への支援

- ・地域学校協働本部チーフコーディネーターを3名配置し、地域とともにある学校づくり及び子どもを核とした地域づくりの体制構築への支援を行います。
- ・ボランティアの資質向上と情報交換の場として研修会を開催します。
- ・ふるさと学習「なばり学」を推進します。
- ・子どもを核とした生涯学習ネットワークの構築を図ります。
- ・学校司書を4名配置し、学校図書館教育への支援を行います。

○市民、保護者への支援

- ・家庭教育連続講座、子育て支援研修を学校・園・市民センター等と連携し実施します。

⑤教育情報・資料の収集・提供

- ・学校教育・家庭教育に関わる情報・資料を提供します。

(3) 教育センター利用状況

①令和3年度研修講座等実施予定一覧表

教育講演会	テーマ	対象
教育講演会	人権教育の時代【YouTubeによる限定配信】	保幼小中・一般
教科・領域研修	テーマ	対象
国語	国語授業のユニバーサルデザイン【リモート開催】	小中
算数	主体的・対話的で深い学びをめざす算数の授業づくり	小中
小学校外国語活動・外国語科	新学習指導要領に対応した小学校外国語活動・ 外国語の授業づくり	小中
理科	週末教育事業体験と理科授業悩み事相談会	小中
書写	書写指導の基礎基本	小中
図工・美術	版画指導の基礎基本	小中
体育	体力向上に向けた授業づくり	保幼小中
課題研修	テーマ	対象
特別支援教育	特別支援事例研究	小中
生徒指導・特別支援教育	愛着障害の理解を踏まえた支援のポイントと実際	小中
不登校	発達に凸凹のある子供への神経心理学的アプローチ	小中
学級づくり	学級は変わる！やってみよう「クラス会議」	小中
発達支援教室	ぱりっ子チャレンジ教室体験で学ぶ（前期）・（後期）	保幼小中
	ぱりっ子わくわくキャンプで学ぶ野外活動	保幼小中
ビギナーズ研修	名張の教育について・教科指導のためのタブレット活用研修	初任者
情報教育	「Zoomを使ったオンライン授業配信」研修	小中
	タブレット端末活用研修（中級講座）	小中
	タブレット端末活用研修（上級講座）	小中
ふるさと学習「なばり学」	名張市内フィールドワーク	初任者・転入者
教育相談	ちょっとホットの会（教職員バージョン）	小中
幼児教育	幼児期からの運動遊びを通じた基礎的な動きづくり	保幼小中
若手教員スキルアップ研修	児童生徒の一人一台タブレット端末活用について	小中
	アドラー心理学を学級運営に生かす	小中
	特別支援教育	小中
	不登校	小中
	生徒指導（いじめ対応）	小中
	教育の今日的な課題	小中
職務研修	テーマ(昨年度)	対象
校長研修	(法令に基づいた教育活動)	校長
教頭研修	(支援を必要とする子のサポートについて)	教頭
養護教諭・助教諭研修	(保健室計画について)	養護教諭・養護助教諭
栄養教諭等研修	食に関する指導の実践と考察	栄養教諭・学校栄養補助員
事務職員研修	(学校事務のICT活用について)	事務職員

マスター・ベーシック研修	教育を取り巻く情勢、教育の今日的な課題 【YouTubeによる限定配信】】	管理職・ 中堅教職員
	教育の今日的な課題【YouTubeによる限定配信】	
	教育法規	
	学校経営・マネジメント	
	中央研修還流報告	
	教育を取り巻く情勢、教育の今日的な課題	
自主研修への支援	テーマ	対象
ケースカンファレンス	事例研究等（年4回）	保幼小中
小学校外国語教育	小学校外国語教育について（年5回）	小中
プログラミング教育	プログラミング教育について（年5回）	小中
通級指導教室	通級指導について（年3回）	小中
ICTよろず研修	ICT活用研修（要予約：火・木）	小中
教育課題に関する調査・研究	テーマ	対象
グループ研究部会講師招聘	各部会・小グループの研究テーマ	幼小中
地域と学校の連携への支援	テーマ	対象
学校支援	学校生活支援ボランティア研修会	ボランティア・教職員
図書館ボランティア 子ども読書推進研修講座	小さい子のための読み聞かせ	保護者
	学校での読み聞かせ ～伝わる読み方 伝える準備～	ボランティア
	読み聞かせを聞く ～絵本の力 声の力～	保幼小
保護者への支援	テーマ	対象
豊かな子育て研修講座	育てにくさを感じる子どもの理解と対応（年2回） 【オンライン同時開催】【YouTubeによる限定配信】	保護者・教職員 一般
家庭教育 連続講座	あなたらしく ありのままがいいよ！～共に学ぶ楽しい子育て～・ 「お母さんのがんばりを子どもはちゃんと見ています」 【オンライン同時開催】【YouTubeによる限定配信】	保護者 一般
	「AI出現！今こそ求められる思考力」	
	「時には がまんが必要です」	
	「困らせる子どもは 困っている子どもです」	
	「自分で考える力を育もう」	
ちょっとホッとのお会	学校に登校しにくいお子さんをもつ保護者の方々のつどい(年2回)	保護者

②利用者数の年度別推移

年 度	平成25 年度	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度
利用者数 (人)	8,489	11,169	12,123	13,647	13,629	13,648	16,003	8,749

第3 社会教育

1. 社会教育委員

令和3年6月10日現在

区分	氏名	委嘱年月日	備考
学 校 関 係 者	根本 健	令和3年4月1日	校長会代表
	廣岡 茂斉	令和3年4月1日	校長会代表
社会教育 関 係 者	斉藤 健	平成18年6月10日	体育団体代表
	有馬 聖子	令和2年6月10日	P T A代表
	耕野 一仁	平成25年5月1日	文化団体代表
	生田 茂夫	令和2年6月10日	生涯学習推進協議会代表
	小引 福夫	平成27年5月29日	地域づくり組織代表
学 識 経 験 者	須曾野 仁志	平成24年6月21日	三重大学教授
	千邑 淳子	令和2年6月10日	皇學館大学文学部 国文学科准教授
	若山 東男	平成24年6月10日	企業経営経験者 社会教育貢献者
	増岡 孝則	平成24年6月10日	社会教育経験者
	神野 稔	平成28年6月10日	社会教育経験者
	豊岡 千代子	平成31年4月1日	社会教育経験者
家庭教育 関 係 者	澤田 田鶴子	平成16年6月10日	青少年健全育成経験者
	橋本 香里	平成30年6月10日	家庭教育経験者
	椿原 礼子	平成31年4月1日	家庭教育経験者

2. 文化振興・文化財保護

(1) 文化団体会員数

(令和3年4月15日現在)

区 分	音 楽	舞 踊	美 術	芸 能	生活文化	合 計
団体構成員数	346	53	0	6	23	428
(団体数)	(17)	(10)	(0)	(1)	(2)	(30)
個人会員数	9	3	2	4	1	19
会員数合計	355	56	2	10	24	447

(2) 指定文化財

(令和2年度)

種別 指定区分	建	絵	彫	工	書	典	考	民	史	名	記	歴	登	合
	造	画	刻	芸	跡	籍	古	俗	跡	勝	念	史	録	計
	物	画	刻	芸	跡	籍	古	俗	跡	勝	物	資料	文化財	
国			3	2					2	1			24	32
県	1	1	3	2		1	1	1	2		1			13
市		8	9	14	10		5	3	2		5	2		58
合 計	1	9	15	18	10	1	6	4	6	1	6	2	24	103

(3) 文化財公開施設入館者数

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
名張藤堂 家邸跡	個 人	2,145	2,407	1,859	1,578	1,467
	(うち共通券)	(171)	(559)	(304)	(188)	(171)
	団 体	402	309	242	318	22
	減 免	293	301	279	231	101
	合 計	2,840	3,017	2,380	2,127	1,590
夏見廃寺 展示館	個 人	693	953	746	741	644
	(うち共通券)	(162)	(559)	(296)	(195)	(186)
	団 体	324	245	273	185	80
	減 免	91	288	568	189	104
	合 計	1,108	1,486	1,587	1,115	828
名張市 郷土資料館	合 計	2,835	2,846	2,755	2,106	1,585

(4) 指定文化財一覧表

種別	指定	名 称	員数	時 代	指定年月日	所 有 者	所 在 地
建造物	県	杉谷神社本殿	1 棟	江戸時代	昭和 35. 5. 17	杉谷神社	大屋戸 62
絵画	県	紙本着色北野天神縁起	3 巻	室町時代	昭和 35. 5. 17	杉谷神社	大屋戸 62
絵画	市	両界曼荼羅	双幅	鎌倉時代	昭和 32. 3. 20	無動寺	黒田 902
絵画	市	阿弥陀如来来迎図	1 幅	鎌倉時代	昭和 32. 3. 20	無動寺	黒田 902
絵画	市	和州騒動の図	1 幅	江戸時代	昭和 33. 3. 10	柏原区	赤目町柏原 464
絵画	市	名張城下町地図	1 幅	江戸時代	昭和 33. 3. 10	個人	新町 173
絵画	市	釈迦涅槃図	1 幅	室町時代	昭和 37. 4. 6	丈六寺	赤目町丈六 529
絵画	市	一の鳥居建立の図屏風	1 双	江戸時代	昭和 37. 4. 6	個人	新町 183
絵画	市	錦絵	24 点	江戸・明治	昭和 49. 8. 5	名張市	安部田 2270
絵画	市	護念寺涅槃図	1 幅	室町時代	平成 19. 4. 5	宝泉寺	安部田 2200
彫刻	国	木造聖観音立像	1 軀	平安時代	大正 2. 8. 20	弥勒寺	西田原 2888
彫刻	国	木造十一面観音立像	1 軀	平安時代	大正 4. 8. 10	弥勒寺	西田原 2888
彫刻	国	木造不動明王立像	1 軀	平安時代	大正 5. 8. 17	無動寺	黒田 902
彫刻	県	木造薬師如来坐像	1 軀	平安時代	昭和 51. 3. 31	弥勒寺	西田原 2888
彫刻	県	木造弥勒菩薩坐像	1 軀	平安時代	昭和 51. 3. 31	弥勒寺	西田原 2888
彫刻	県	能・狂言面	45 面	室町時代	昭和 59. 3. 27	宇流富志禰神社	平尾 3322
彫刻	市	観瀑図誌版木	35 枚	江戸時代	昭和 3. 3. 10	個人	本町 336
彫刻	市	木造役行者倚像	1 軀	室町時代	昭和 37. 4. 6	弥勒寺	西田原 2888
彫刻	市	納経版木と宝印版木	3 枚	室町時代	昭和 37. 4. 6	延寿院	赤目町長坂 751
彫刻	市	木造薬師如来坐像	1 軀	平安時代	昭和 49. 8. 5	龍性院	滝之原 4051
彫刻	市	木造阿弥陀如来立像	1 軀	江戸時代	昭和 49. 8. 5	栄林寺	本町 204
彫刻	市	上比奈知国津神社 境内二尊石仏	1 基	南 北 朝	平成 13. 5. 17	国津神社	上比奈知 81
彫刻	市	蓮福寺二尊石仏	1 基	南 北 朝	平成 13. 5. 17	蓮福寺	神屋 2658
彫刻	市	上比奈知墓地石仏	1 基	南 北 朝	平成 13. 5. 17	上比奈知区	上比奈知 1078
彫刻	市	法然寺木造阿弥陀 如来立像	1 軀	平安時代	平成 13. 5. 17	栄林寺	本町 204
工芸品	国	木造黒漆厨子	1 基	室町時代	明治 45. 2. 8	福成就寺	箕曲中村 1041
工芸品	国	石造燈籠	1 基	鎌倉時代	大正 5. 8. 17	延寿院	赤目町長坂 751
工芸品	県	石燈籠	1 基	南 北 朝	昭和 16. 9. 16 平成 9. 10. 7 種別・名称変更	春日神社	矢川 691
工芸品	県	石燈籠	1 基	鎌倉時代	昭和 16. 9. 16 平成 9. 10. 7 種別・名称変更	勝手神社	黒田 1176

種別	指定	名 称	員数	時 代	指定年月日	所 有 者	所 在 地
工芸品	市	石造十三重塔	1 基	鎌倉時代	昭和 32. 3. 20	福成就寺	箕曲中村 1041
工芸品	市	銅鏡	3 面	室町時代	昭和 33. 3. 19	国津神社	奈垣 2042
工芸品	市	法然寺供養塔	1 基	南 北 朝	昭和 33. 3. 19	栄林寺	黒田 1997
工芸品	市	石造十三重塔	1 基	鎌倉時代	昭和 37. 4. 6	延寿院	赤目町長坂 751
工芸品	市	石造五輪塔	1 基	鎌倉時代	昭和 37. 4. 6	丈六寺	赤目町丈六 529
工芸品	市	梵鐘	1 口	江戸時代	昭和 37. 4. 6	専称寺	希中央 4-40
工芸品	市	寿栄神社の具足	1 領	江戸時代	昭和 45. 9. 7	寿栄神社	丸之内 54-5
工芸品	市	備前長船の刀剣	1 口	戦国時代	昭和 45. 9. 7	寿栄神社	丸之内 54-5
工芸品	市	石造五輪塔	1 基	鎌倉時代	昭和 45. 9. 7	蓮福寺	南古山 1777
工芸品	市	一の鳥居	1 基	江戸時代	昭和 45. 9. 7	宇流富志禰神社	中町
工芸品	市	石造鳥居	1 基	江戸時代	昭和 45. 9. 7	宇流富志禰神社	平尾 3322
工芸品	市	石造手水鉢	1 基	江戸時代	昭和 45. 9. 7	宇流富志禰神社	平尾 3322
工芸品	市	石造十三重塔	1 基	室町時代	昭和 54. 8. 10	春日神社	蔵持町原出 376
工芸品	市	石造五輪塔	1 基	室町時代	令和 3. 3. 1	永福寺	下比奈知 1962
書跡	市	棟札	8 枚	安土桃山	昭和 33. 3. 10	国津神社	奈垣 2042
書跡	市	新田開発関係文書	1 卷	江戸時代	昭和 33. 3. 10	新田区	図書館寄託
書跡	市	切支丹禁制文書	1 卷	江戸時代	昭和 33. 3. 10	西方寺	南町 476
書跡	市	一の鳥居奉納帳	1 帳	江戸時代	昭和 37. 4. 6	個人	中町 369
書跡	市	蓮如上人筆六字名号	1 幅	室町時代	昭和 37. 4. 6	西光寺	蔵持町里 2751
書跡	市	大般若経	600 卷	江戸時代	昭和 37. 4. 6	丈六寺	赤目町丈六 529
書跡	市	法華経	8 卷	江戸時代	昭和 37. 4. 6	丈六寺	赤目町丈六 529
書跡	市	大般若経	1 卷	平安時代	昭和 45. 9. 7	杉谷神社	大屋戸 62
書跡	市	村部家旧蔵 田中文兵衛知行文書	3 点	江戸時代	平成 22. 3. 9	名張市	安部田 2270
書跡	市	延寿院津藩主寄進状	9 点	江戸時代	平成 30. 3. 13	延寿院	赤目町長坂 755
典籍	県	永保記事略附録 (藤堂采女家旧蔵本)	1 冊	江戸時代	平成 20. 3. 19	名張市	丸之内 54-3
歴史資料	市	名張藤堂家関係資料	3285 点	江戸時代	平成 8. 7. 5	名張市	丸之内 54-3
歴史資料	市	伊賀国天保国絵図下図	1 帖	江戸時代	平成 19. 4. 5	個人	南町 635
考古資料	県	夏見廃寺出土埴仏・塑像	516 点	白鳳時代	平成 15. 3. 17	名張市	夏見 2759
考古資料	市	石匙	1 点	縄文時代	昭和 35. 2. 6	名張市	安部田 2270
考古資料	市	須恵器杯（貝入り）	1 点	古墳時代	昭和 35. 2. 6	名張市	安部田 2270
考古資料	市	石棒	1 点	縄文時代	昭和 37. 4. 6	個人	夏見 832
考古資料	市	石斧	1 点	縄文時代	昭和 45. 9. 7	個人	赤目町相楽 559-2
考古資料	市	鈴入台付小壺	1 点	古墳時代	昭和 49. 8. 5	名張市	安部田 2270
民俗(有形)	県	手漉和紙製造具	20 点	明治時代	昭和 51. 3. 31	名張市	安部田 2270

種別	指定	名 称	員数	時 代	指定年月日	所 有 者	所 在 地	
民俗(無形)	市 県	松明調進行事			昭和 31. 5. 10 平成 14. 2. 18	伊賀一ノ井松明講	赤目町一ノ井	
民俗(無形)	市 県	八幡神社の若子祭			昭和 45. 9. 7 平成 13. 2. 21	滝之原区	滝之原	
民俗(無形)	市	火縄づくりの製作技術			平成 31. 4. 2	上小波田火縄保存会	上小波田 968	
史跡	国	美旗古墳群	馬塚古墳	1 基	古墳時代	昭和 53. 10. 17	名張市	美旗町中 1 番 252
	国		小塚古墳	1 基	古墳時代	昭和 53. 10. 17	名張市	美旗町中 1 番 238
	国		女良塚古墳	1 基	古墳時代	昭和 53. 10. 17	名張市・個人	新田 994 他
	国		赤井塚古墳	1 基	古墳時代	昭和 53. 10. 17	名張市	上小波田 793
	国		殿塚古墳	1 基	古墳時代	昭和 53. 10. 17	名張市	新田 964
	国		貴人塚古墳	1 基	古墳時代	昭和 53. 10. 17	名張市	下小波田 773
	国		毘沙門塚古墳	1 基	古墳時代	昭和 53. 10. 17	名張市・個人	新田 1064 他
史跡	国	夏見廃寺跡		飛鳥時代	平成 2. 3. 8	名張市	夏見 2348-1 他	
史跡	県	名張藤堂家邸跡		江戸時代	昭和 28. 5. 7	名張市	丸之内 54-3	
史跡	県	琴平山古墳	1 基	古墳時代	平成 18. 3. 17	個人・八幡神社	赤目町檀 602-1 他	
史跡	市	宮山古墳	1 基	古墳時代	昭和 37. 4. 6	春日神社	赤目町一ノ井 610	
史跡	市	鹿高神社境内古墳	1 基	古墳時代	昭和 45. 9. 7	鹿高神社	安部田 1942-3	
名勝	国	赤目の峡谷			大正 14. 10. 8	延寿院他	赤目町長坂	
天然記念物	県	長瀬のヒダリマキガヤ			昭和 11. 4. 2	個人	長瀬 1449	
天然記念物	市	オオサンショウウオの生息地			昭和 33. 3. 10	名張市	赤目・箕曲地区	
天然記念物	市	枝垂れ桜	1 本		昭和 37. 4. 6	延寿院	赤目町長坂 751	
天然記念物	市	野花菖蒲の群落			昭和 49. 8. 5	個人	安部田 1051	
天然記念物	市	長瀬のコツブガヤ			平成 17. 4. 18	個人	長瀬 1449	
天然記念物	市	八幡夏秋地区のギフチョウ			平成 21. 2. 4		八幡・夏秋地区	
登録文化財	国	川地写真館	1 棟	大正時代	平成 20. 7. 23	個人	新町 218-1	
登録文化財	国	旧細川家住宅	4 棟	明治時代	平成 21. 1. 22	名張市	新町 136	
登録文化財	国	大和屋本舗	1 棟	江戸時代	平成 21. 8. 25	個人	本町 55	
登録文化財	国	岡村家住宅主屋	1 棟	江戸時代	平成 23. 10. 28	個人	本町 336	
登録文化財	国	梅田家住宅	4 棟	江戸時代	平成 24. 8. 13	個人	上八町 1648	
登録文化財	国	木屋正酒造店舗兼主屋	1 棟	江戸時代	平成 25. 3. 29	個人	本町 314-1	
登録文化財	国	山口家住宅主屋	1 棟	明治時代	平成 26. 4. 25	個人	上八町 1495	
登録文化財	国	保田家住宅主屋・蔵	2 棟	明治時代	平成 27. 3. 26	個人	上本町 21	
登録文化財	国	中井家住宅主屋	1 棟	昭和時代	平成 27. 11. 17	個人	元町 452	
登録文化財	国	貝増家住宅主屋	1 棟	昭和時代	平成 29. 5. 2	個人	柳原町 3339	
登録文化財	国	小川家住宅主屋・東蔵・西蔵	3 棟	江戸時代	平成 29. 10. 27	個人	榑町 1404-2	
登録文化財	国	山中家住宅主屋・離れ・北蔵・南蔵	4 棟	江戸時代	令和 1. 9. 10	個人	本町 200	

3. 年度別名張市美術展覧会出品数（応募者数）

年度	絵画	書道	写真	美術工芸	合計
28年度	32	27	65	16	140
29年度	30	15	66	17	128
30年度	38	23	61	27	149
元年度	29	17	52	23	121
2年度	44	13	54	21	132

※招待・無鑑査・審査員の出品数は除く

4. 社会教育等施設の利用状況

(1) 市民センター利用状況

①利用状況の年度別推移

市民センター名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
名張	件数	2,270	2,289	2,246	1,863	1,215
	人数	24,412	25,265	25,047	20,037	12,244
蔵持	件数	1,235	1,224	1,278	1,182	944
	人数	15,305	15,193	15,593	13,882	9,949
薦原	件数	424	434	437	381	365
	人数	5,445	6,080	5,738	54,776	3,418
美旗	件数	1,951	2,066	2,171	2,104	1,173
	人数	26,369	26,934	26,596	24,920	11,359
比奈知	件数	712	589	519	457	294
	人数	10,847	8,327	7,727	6,069	2,994
錦生	件数	352	411	432	348	265
	人数	4,205	4,637	5,268	4,025	2,334
赤目	件数	1,022	991	991	932	821
	人数	12,819	13,513	14,388	11,390	6,755
箕曲	件数	614	701	845	771	671
	人数	6,643	7,802	8,818	8,071	6,055
国津	件数	301	353	340	309	268
	人数	3,144	2,999	2,929	2,608	1,761
長瀬	件数	184	191	182	158	120
	人数	1,666	1,777	1,415	1,294	708

市民センター名		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
桔梗が丘	件数	3,861	3,835	3,885	3,237	2,049
	人数	53,268	50,378	51,370	45,392	21,538
桔梗が丘南	件数	720	846	850	764	516
	人数	9,812	11,445	11,132	9,590	5,253
つつじが丘	件数	3,209	3,041	2,964	2,577	1,766
	人数	47,006	43,949	54,886	36,534	21,760
梅が丘	件数	1,540	1,580	1,613	1,621	638
	人数	14,781	17,417	18,694	17,569	5,127
百合が丘	件数	1,800	1,910	1,809	1,692	1,158
	人数	23,727	22,407	22,868	26,207	13,233
すずらん台	件数	1,078	1,001	988	898	757
	人数	12,437	12,066	11,313	10,395	6,455
中央 ゆめづくり館	件数	1,033	1,020	1,062	1,050	859
	人数	22,173	24,140	22,059	19,954	11,753
計	件数	22,306	22,482	22,612	20,313	13,879
	人数	294,059	294,329	305,841	262,565	142,696

(利用団体別)

利用団体		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
市民センター	主催	件数	1,364	1,273	1,282	1,126	513
		人数	35,915	31,112	34,193	28,178	8,209
	サークル	件数	15,682	15,002	15,459	13,406	9,211
		人数	159,017	154,108	156,863	135,219	84,013
社会教育 関係団体	件数	240	239	230	175	89	
	人数	4,696	4,901	5,055	3,653	1,418	
地区関係等	件数	2,238	2,247	2,238	2,148	1,937	
	人数	49,565	47,382	51,293	43,693	25,871	
市関係	件数	781	829	878	942	621	
	人数	20,591	24,874	26,106	21,195	11,076	
その他団体	件数	2,001	2,348	2,525	2,516	1,508	
	人数	24,275	27,176	32,331	30,627	12,109	
合計	件数	22,306	21,938	22,612	20,313	13,879	
	人数	294,059	289,553	305,841	262,565	142,696	

※平成 29 年度は国津・長瀬は含みません

②令和2年度市民センター利用状況（令和2年4月～令和3年3月）

	件数														計	令和元年度 合計		
	名張	蔵持	薦原	美旗	比奈知	錦生	赤目	箕曲	くにつぶ るさと	長瀬	桔梗が丘	桔梗が丘 南	つつしが丘	梅が丘			百合が	すずらん
市民 セン ター 関 係	76	17	26	5	21	1	16	44	9	10	45	0	63	8	3	38	131	513
	1,292	332	421	51	514	28	441	667	88	101	1,211	0	757	113	80	397	1,716	8,209
社会教育 関係団体	907	763	155	599	216	171	698	411	193	93	1,561	206	1,264	268	864	516	326	9,211
	7,662	7,588	985	5,986	1,593	1,183	4,537	3,717	1,066	473	14,040	2,054	14,949	2,140	9,836	3,253	2,951	84,013
地区関係等	13	0	0	40	2	0	1	0	0	0	0	0	17	1	0	3	12	89
	140	0	0	731	61	0	5	0	0	0	0	0	145	41	0	20	275	1,418
市 関 係	23	100	0	147	34	73	67	40	51	16	361	157	309	342	106	110	1	1,937
	393	1,534	0	2,214	555	957	1,355	559	443	124	5,098	1,554	4,820	2,657	1,892	1,711	5	25,871
その 他 の 団 体	23	4	45	20	10	6	1	3	10	1	12	14	56	17	4	45	350	621
	496	70	1,120	356	160	87	12	39	131	10	290	90	728	169	180	700	6,438	11,076
合 計	173	60	139	362	11	14	38	173	5	0	70	139	57	2	181	45	39	1,508
	2,261	425	892	2,021	111	79	405	1,073	33	0	899	1,555	361	7	1,245	374	368	12,109
参 考	1,215	944	365	1,173	294	265	821	671	268	120	2,049	516	1,766	638	1,158	757	859	13,879
	12,244	9,949	3,418	11,359	2,994	2,334	6,755	6,055	1,761	708	21,538	5,253	21,760	5,127	13,233	6,455	11,753	142,696

参考

令和元年度 合計	1,863	1,182	381	5,104	457	348	932	771	309	158	3,237	764	2,577	1,621	1,692	898	1,050	20,313
合計	20,037	13,882	4,776	24,920	6,069	4,025	11,390	8,071	2,608	1,294	45,932	9,590	36,534	17,569	26,207	10,395	19,954	262,565

③令和3年度市民センター主催事業・サークルの実施状況

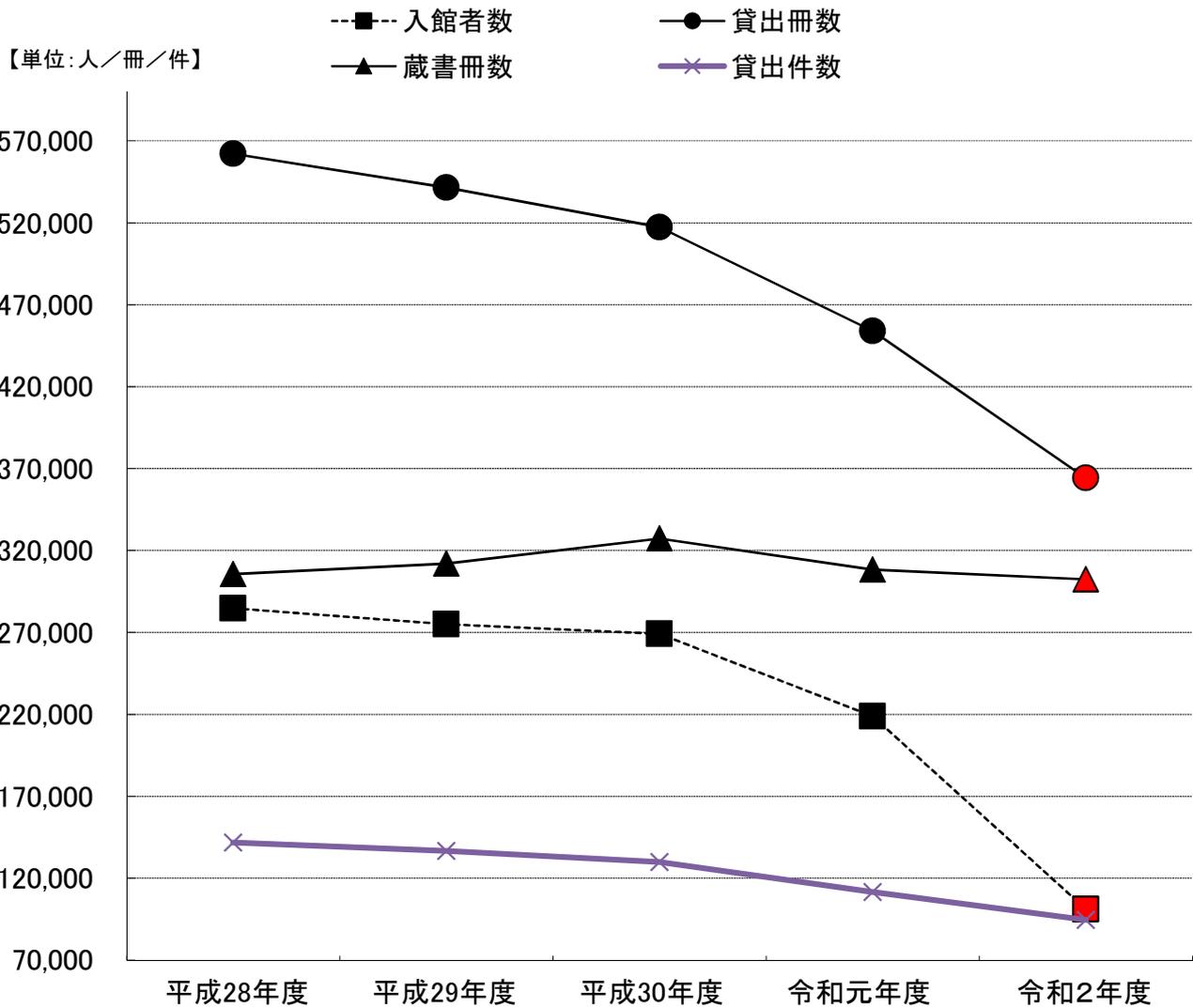
	主催事業(予定)			サークル	
	主催 事業数※	年間 開催数	年間受講予定者数	団体数	会員数
名 張	5	43 回	1,395 人	54 団体	801 人
蔵 持	7	33 回	675 人	28 団体	397 人
薦 原	9	28 回	533 人	13 団体	119 人
美 旗	5	20 回	495 人	31 団体	354 人
比 奈 知	3	28 回	730 人	21 団体	223 人
錦 生	3	39 回	1,015 人	11 団体	104 人
赤 目	15	18 回	410 人	19 団体	161 人
箕 曲	18	100 回	1,703 人	13 団体	112 人
くにつふるさと館 長 瀬	4	41 回	472 人	17 団体	159 人
桔梗が丘 桔梗が丘南	6	30 回	1,510 人	80 団体	1,124 人
つつじが丘	6	19 回	570 人	54 団体	839 人
梅 が 丘	5	41 回	895 人	31 団体	366 人
百合が丘	20	37 回	3,227 人	38 団体	583 人
すずらん台	3	27 回	426 人	14 団体	137 人
中央ゆめづくり館	15	324 回	4,654 人	12 団体	134 人
合 計	124	828 回	18,710 人	436 団体	5,613 人

※主催事業には単発講座、行事等含む。

(2) 図書館利用状況

①利用状況の年度別推移

年度	入館者	貸出冊数	内 訳		貸出件数	蔵書冊数
			本 館	移動図書館		
H28	284,753	562,199	512,041	50,158	141,717	305,585
H29	274,975	541,531	491,847	49,684	136,705	311,993
H30	269,237	517,331	475,284	42,047	129,855	327,313
R元	218,841	453,999	416,904	37,095	111,575	308,333
R2	101,107	364,221	324,575	39,646	94,495	302,408



②各種数値の年度別推移

		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
人口 (3月31日現在)		人	79,517	78,920	78,553	77,898	77,250
図書館費(決算) (千円未満切捨て)		千円	89,026	89,926	86,384	87,861	128,946 (注)
図書購入費 (千円未満切捨て)		千円	9,189	9,136	9,772	9,409	7,440
貸出件数		件	141,717	136,705	131,992	111,575	94,495
新規登録者数		人	1,659	1,637	1,193	1,286	941
全登録者数		人	30,424	29,700	28,864	30,141	28,686
リクエスト	予約	件	43,557	43,488	46,303	33,888	46,535
	購入	冊	3,642	3,596	3,596	2,638	2,074
	他館借受	冊	3,412	3,391	3,501	3,057	1,866
ビデオ等利用人数		人	1,559	1,535	1,311	882	0
CD利用人数		人	409	338	317	100	0
図書購入冊数		冊	6,125	6,015	6,369	5,844	3,452
図書利用カード登録率		%	34.6	37.6	33.3	35.0	33.8
市民1人当たりの蔵書冊数		冊	3.84	3.95	3.93	3.84	3.91
市民1人当たりの貸出冊数		冊	6.48	6.43	6.16	5.44	4.71
利用者1回当たりの貸出冊数		冊	3.97	3.96	3.92	4.07	3.85
職員1人当たりの貸出処理冊数		冊	35,137	33,767	32,333	28,375	22,764
登録者1人当たりの貸出冊数		冊	18.48	18.93	17.92	15.06	12.70
登録者1人当たりの貸出回数		回	4.66	4.59	4.57	3.70	3.29
市民1人当たりの図書購入費		円	115.6	115.8	109.3	109.1	96.3

(注)臨時工事費(40,321)を含む

(3) 武道交流館いきいき利用状況

<利用状況の年度別推移>

(上段) 件数
(下段) 人数

施設名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
武道館	第1道場	663	664	677	645	588
		14,729	16,847	16,463	13,699	8,498
	第2道場	765	787	831	800	661
		21,011	22,761	22,342	21,671	15,350
弓道場	33	32	29	26	6	
	3,252	3,344	3,788	3,656	2,707	
道場個人利用者		947	1,023	840	1,038	884
交流館	多目的ホール	990	1,033	1,021	957	637
		21,268	22,667	23,382	19,374	9,849
	市民交流室	1,133	1,119	1,268	1,203	901
		15,062	14,918	16,570	15,055	11,007
	和室	483	497	548	508	386
		2,338	2,946	3,721	3,695	2,897
	料理教室	182	101	100	66	33
		1,614	1,308	1,416	1,061	241
	工芸室	329	377	335	321	227
		2,389	2,856	3,177	2,353	1,821
まちづくり活動室	321	303	391	366	289	
	3,981	5,519	5,560	4,465	2,761	
会議室1	521	571	599	537	403	
	5,348	7,785	7,666	5,893	3,873	
会議室2	420	406	420	363	170	
	2,594	2,803	2,669	2,524	993	
健康トレーニング室		12,426	11,463	10,070	8,517	4,018
合計		5,840	5,890	6,219	5,792	4,301
		107,988	117,293	119,506	104,115	62,354

※弓道場、市民交流室の人数は個人利用者数を含む。

(4) 体育施設利用状況

<利用状況の年度別推移>

【総合体育館】

(単位：人)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
アリーナ	スポーツ	42,949	46,151	41,202	35,785	25,523
	スポーツ以外	1,160	2,150	3,180	4,270	885
	一般公開	823	597	560	418	496
卓球室		9,471	9,749	9,934	8,485	6,327
トレーニング室		1,250	948	759	354	158
合計		55,653	59,595	55,635	49,312	33,389

【その他の体育施設】

(単位：人)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
中央公園	テニスコート	39,839	33,959	29,104	29,104	20,482
	野球場	11,361	8,347	6,656	6,656	1,717
	プール	10,794	6,097	3,769	3,769	0
	陸上競技場	12,174	43,415	48,174	48,174	44,011
	ターゲット・バードゴルフ場	4,568	3,826	3,774	3,774	3,098
	ゲートボール場	885	490	0	0	231
武道館(武道交流館いきいき内)		39,939	43,975	44,433	40,064	27,601
ホッケー場		—	—	—	3,057	9,217
その他体育施設		45,367	41,899	42,955	36,345	32,654
合計		164,927	182,008	171,465	171,465	139,011

※ホッケー場・・・令和元年10月～

※その他体育施設・・・つつじが丘公園・薦原公園・八幡2号公園・青蓮寺C地区公園

(平成26年～) 滝之原体育館・滝之原運動場・錦生体育館・錦生運動場
国津体育館・国津運動場・長瀬体育館

(平成29年～) 新田ゲートボール

市民1人当たり体育施設利用回数(年間)の年度別推移	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	4.4回	4.9回	4.6回	4.6回	3.6回

5. 学校体育施設の開放状況

(令和2年度)

	(延べ利用回数)				(延べ利用人数)				団体数
	体育館	運動場	夜間照明	合計	体育館	運動場	夜間照明	合計	
名張小学校	299	68	81	448	2,766	1,267	1,575	5,608	11
蔵持小学校	222	31	0	253	3,479	836	0	4,315	6
薦原小学校	153	24	0	177	1,673	613	0	2,286	10
比奈知小学校	277	64	179	520	2,867	3,455	4,478	10,800	13
美旗小学校	291	63	123	477	3,848	2,170	2,999	9,017	11
箕曲小学校	124	36	113	273	1,572	963	2,836	5,371	10
錦生赤目小学校	183	95	91	369	3,729	3,360	3,193	10,282	5
桔梗が丘小学校	357	67	0	424	6,127	833	0	6,960	14
桔梗が丘南小学校	273	73	0	346	3,123	1,720	0	4,843	10
桔梗が丘東小学校	144	100	0	244	1,710	2,047	0	3,757	9
つつじが丘小学校	477	106	56	639	8,875	2,967	1,318	13,160	11
すずらん台小学校	191	43	0	234	2,196	2,452	0	4,648	8
梅が丘小学校	542	32	0	574	8,803	1,241	0	10,044	11
百合が丘小学校	265	94	0	359	3,898	2,591	0	6,489	13
名張中学校	274	0	0	274	2,290	0	0	2,290	8
赤目中学校	209	0	0	209	1,392	0	0	1,392	7
桔梗が丘中学校	378	0	0	378	4,292	0	0	4,294	14
北中学校	150	0	0	150	1,907	0	0	1,907	8
南中学校	278	0	0	278	2,787	0	0	2,787	5
合計	5,087	896	643	6,626	67,336	26,515	16,399	110,250	184
【参考】 令和元年度合計	5,369	830	675	6,874	75,143	26,998	16,120	118,261	194

6. 青少年補導センター

〔名称〕

名張市青少年補導センター(昭和38年発足、設置規則：平成3年3月8日制定)

〔設置の趣旨〕

名張市青少年補導センターは、青少年の補導関係機関及び団体等と連絡協調を図り、その活動の拠点となって、青少年の非行防止等に必要な業務を行い、もって青少年の健全な育成を図ることを目的として設置する。

〔設置場所〕

名張市百合が丘西5番町25番地 名張市子どもセンター1階

TEL 63-7867ナヤムナ (兼相談電話)

〔所管室〕

文化生涯学習室

〔主な事業内容〕

○街頭補導活動

通常補導(月・火・木・金曜日 午後 ※祝祭日及び年末年始を除く)
特別補導(随時 夜間、祭礼等)

○有害環境浄化活動

市内4駅に設置された有害図書回収箱に入れられた有害図書の回収(月1回)
公園・遊び場等のパトロール、青少年健全育成の各種運動への参加、大型店舗・コンビニエンスストア・ゲームセンター・書店等への巡回指導等(随時)

○安全パトロール活動

児童・生徒の下校時における、子ども安全パトロールの実施
(月・火・木・金曜日 下校時間帯 ※祝祭日、年末年始及び夏休み時期等を除く)

○相談活動

電話相談、面接相談
(月・火・木・金曜日 午前10時～午後5時 ※祝祭日及び年末年始を除く)

○広報啓発活動

補導センター要覧の発行(年1回)
補導センターだよりの発行(年2回)
広報なばり等により非行防止の啓発(随時)

○その他

- ・関係機関・団体等との連携
学校、小中教育相談室、適応指導教室、名張警察署伊賀少年サポートセンター、伊賀児童相談所等、青少年育成推進員連絡協議会、青少年育成市民会議、校外生活指導協議会
- ・研修活動
研修等の実施・参加

〔補導・相談担当者〕

補導・相談 補導員〔4名〕 社会教育指導員〔1名〕

〔組織〕

所長	1名	(文化生涯学習室 室長兼務)
補導員	4名	(非常勤)
補導・相談協力員	1名	(社会教育指導員)
事務職員	1名	(文化生涯学習室 職員)

7. 刑法犯少年の初発型非行件数等の推移

人口は、各年末（12/31）現在

	初発型 非行件 数 (人)A	6歳以上 20歳未満 人口 (人) B	割 合 (A÷B× 100) (%)C	初発型非行件数の内訳			
				万引き	オート バイ盗	自転車 盗	占有 離脱物 横領
平成28年	5	9,904	0.05	1	0	4	0
平成29年	15	9,822	0.15	11	2	2	0
平成30年	8	9,773	0.08	4	1	1	2
令和元年	6	9,697	0.06	2	0	3	1
令和2年	4	9,553	0.04	0	0	4	0

※令和2年分名張警察署少年非行の状況より

初発型非行件数は、少年非行の解決を図るための指標として用いられる数値で、犯罪に対する罪の意識が低い犯罪(万引き、オートバイ盗、自転車盗及び占有離脱物横領)が対象となっています。

8. ジュニアリーダー養成講座修了者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
修了者数	14	17	22	17	2

ジュニアリーダーとは、子ども会活動の支援などのボランティア活動を行っている中学生・高校生等のことで、教育委員会と名張市青少年育成市民会議が協働で養成を行っています。

名張市では、ジュニアリーダー養成講座修了者は、活動経験の豊富な社会人や大学生等とともに自主的なボランティア団体（名張Kidsサポータークラブ 平成23年7月発足）を組織し、自主研修の実施、独自事業の開催のほか、市や地域の要請を受けて青少年健全育成のためのさまざまな活動に参加・協力しています。

9. 人権学習会の開催状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地 区 (回)	49	48	41	42	39
市民センター (回)	205	166	282	247	133
企 業 (社)	57	81	48	37	22

10. 三重とこわか国体・三重とこわか大会

三重とこわか国体・三重とこわか大会において、名張市では、正式競技として、弓道競技（全種別）、ホッケー競技（全種別）、軟式野球（成年男子）、公開競技では、綱引競技、デモンストレーション競技では、ターゲット・バードゴルフが開催されます。

【正式競技】

競技名	会場
ホッケー競技	・メイハンフィールド （名張市民陸上競技場） ・はなの里スタジアム （名張市民ホッケー場）
軟式野球競技	メイハンスタジアム （名張市民野球場）
弓道競技	・名張中央公園特設近的弓道場 ・名張中央公園特設遠的弓道場

【公開競技】

競技名	会場
綱引競技	マツヤマ SSK アリーナ （名張市総合体育館）

【デモンストレーション競技】

競技名	会場
ターゲット・バードゴルフ	名張市ターゲット・バードゴルフ場

